

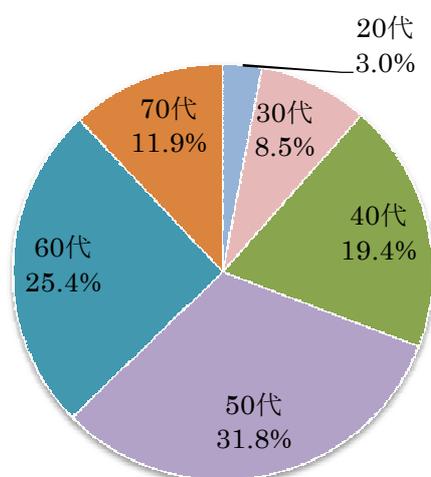
## 研究・技術計画学会 会員に対するアンケート調査結果

(調査実施期間：2014年7月18日～8月11日)

### 1. 回答者の属性

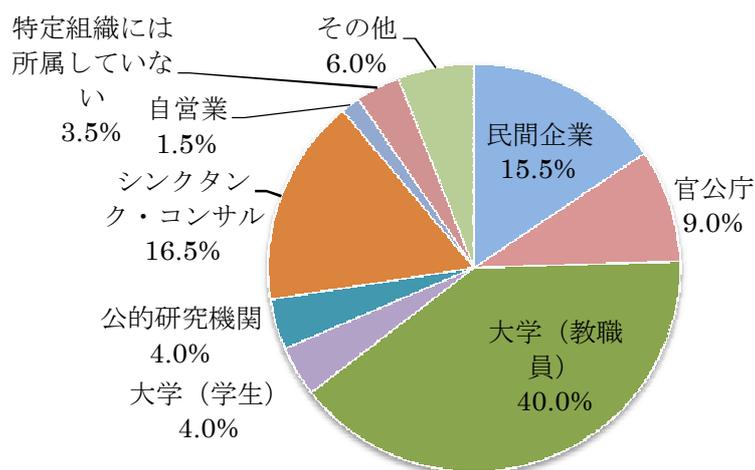
回答総数：203人

問1-1：貴方の年齢について、該当するものを選んで下さい。



(n=201)

問1-2：現在所属している組織について、該当するものを1つ選んで下さい。

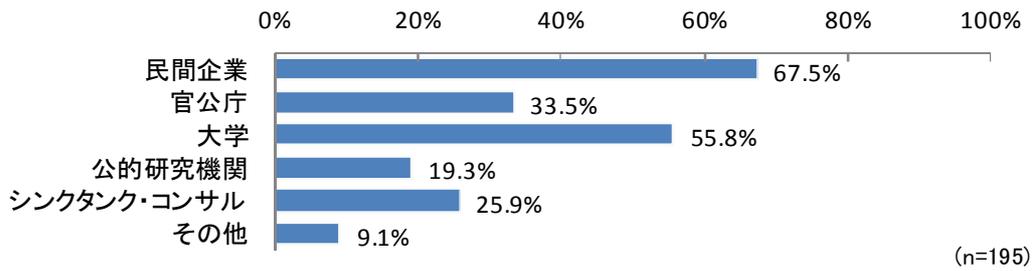


(n=200)

#### その他の回答 (同種の回答はまとめた (以下同様))

・社団法人 ・財団法人 ・産業支援機関 ・労働組合 ・中等教育機関 ・学術団体 ・NPO

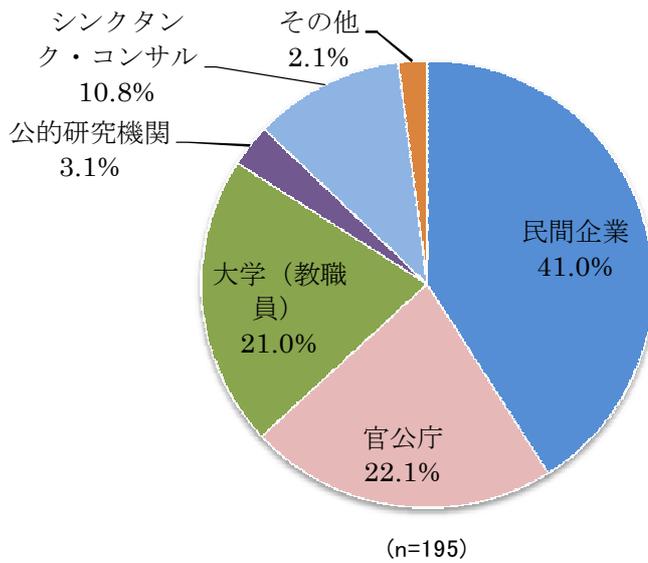
問1-3：これまで所属していた組織を全て選んで下さい。(複数回答可)



**その他の回答**

- ・技術研究組合 ・NPO ・海外地方政府の駐日事務所 ・政府系金融機関 ・労働組合
- ・文部科学省のプロジェクト ・公益財団法人

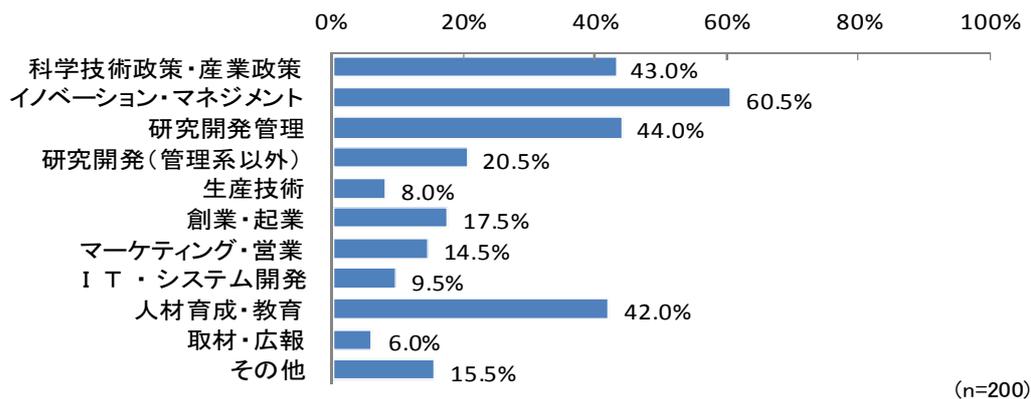
問1-4：これまで所属していた組織のうち、従事期間が最も長いもの1つを選んで下さい。



**その他の回答**

- ・労働組合 ・特殊法人(独立行政法人)

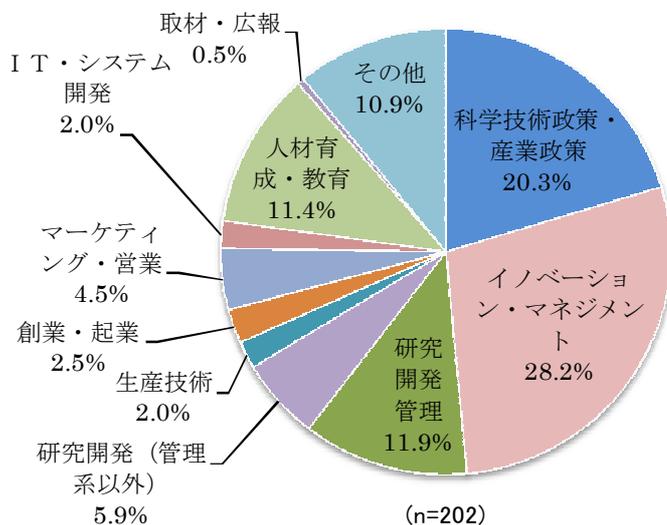
問1-5：貴方の現在の専門分野（または業務）について、当てはまるもの全てを選んで下さい。（複数回答可）



### その他の回答

- ・産学連携 ・外部資金 ・経営 ・知財戦略 ・地域活性化・地域開発 ・震災復興支援
- ・経営戦略 ・技術経営 ・研究開発支援 ・中小企業相談 ・政策 ・営業 ・知的財産
- ・事業開発 ・地域開発 ・アントレプレナーシップ ・経済政策 ・労働政策 ・異業種交流
- ・財産マネジメント ・リスク危機マネジメント ・中小企業経営 ・関連情報収集・配布
- ・技術評価 ・プロジェクト・マネジメント ・経営企画 ・外注調達

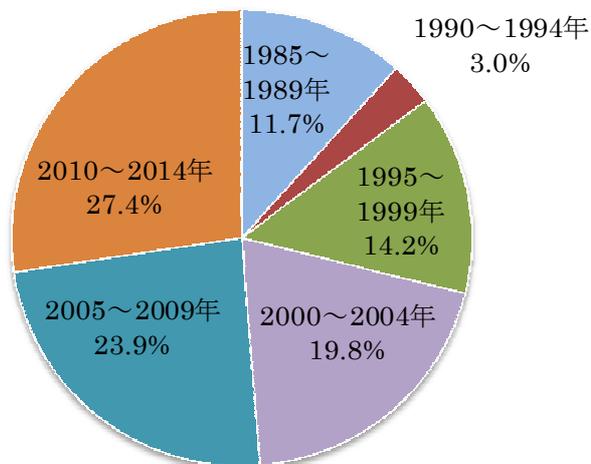
問1-6：貴方の現在の専門分野（または業務）のうち、主要なもの1つを選んで下さい。



### その他の回答

- ・産学連携 ・経営 ・経営戦略 ・知的財産 ・技術経営 ・経済政策 ・異業種交流
- ・リスク危機マネジメント ・関連情報収集・配布 ・技術移転 ・経営企画 ・研究助成
- ・外注調達

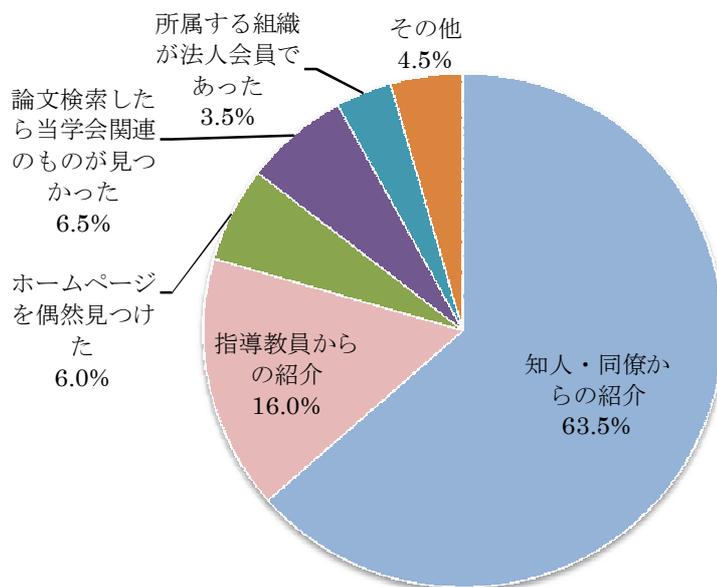
問1-7：当学会に入会したのは、何年頃ですか。当てはまるもの1つを選んで下さい。



(n=197)

## 2. 学会入会のきっかけ・目的

問2-1：当学会をどのようにして知りましたか。該当するものを1つを選んで下さい。



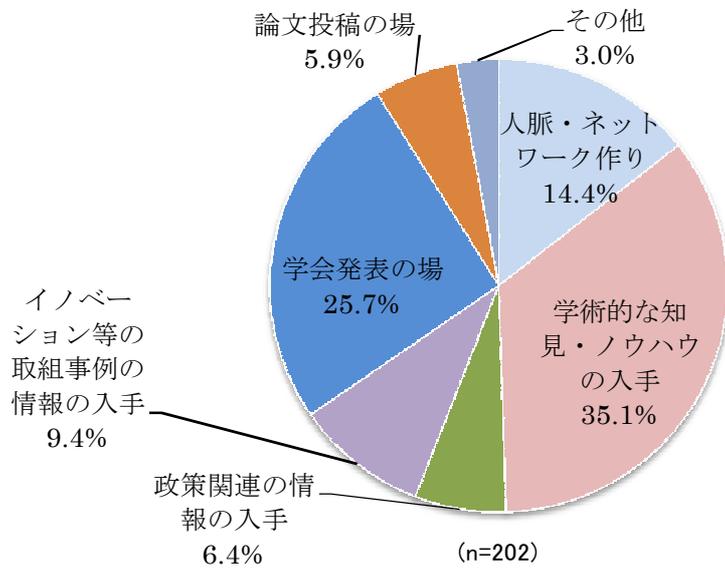
(n=200)

### その他の回答

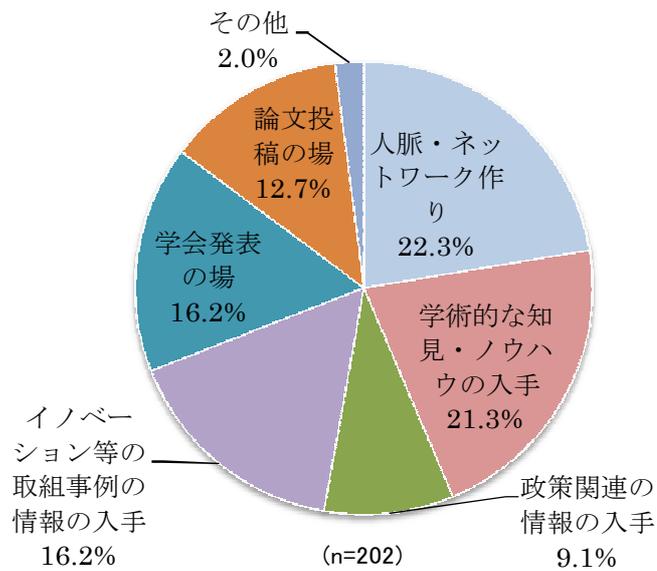
- ・創設会員 ・MOT進学に伴い関連学会を調査 ・講演会の内容と興味が一致したから
- ・人材教育機関のセミナー ・この学会の会員になることは仕事上当然のことと考えていた
- ・正確には記憶にない ・研究領域の展望調査を行う中で関連活動として認識を持った

問2-2：当学会に入会した目的は何ですか。最も重要なものと次に重要なものを選んで下さい。

a. 最も重要な目的

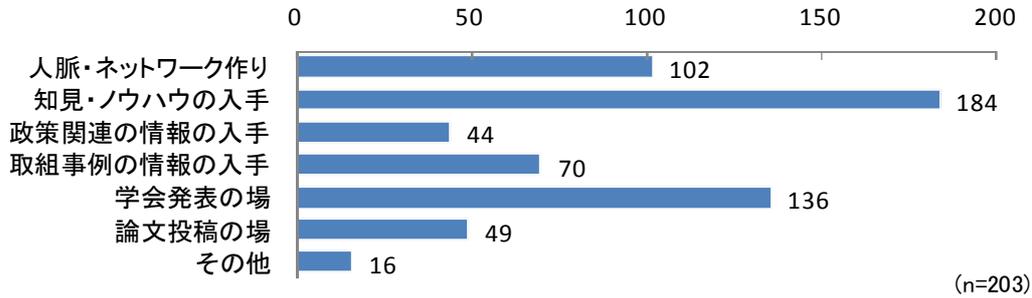


b. 次に重要な目的

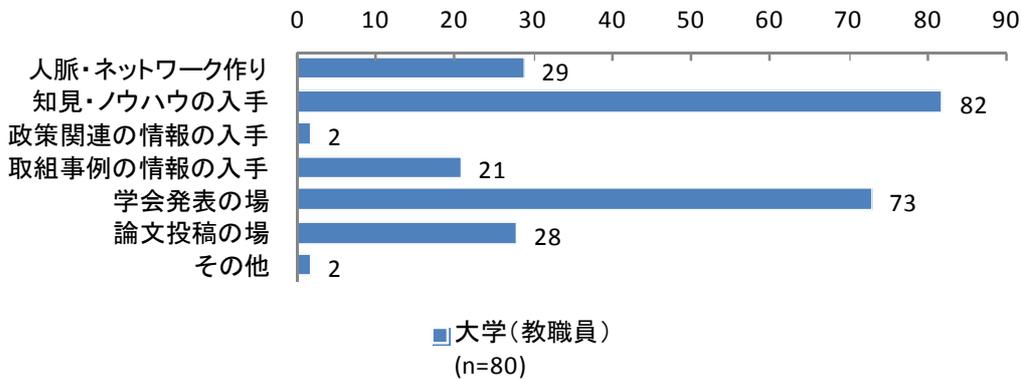
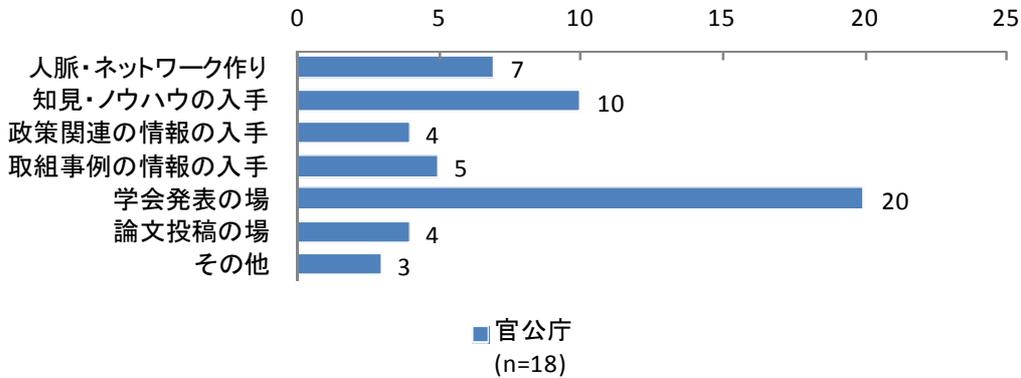
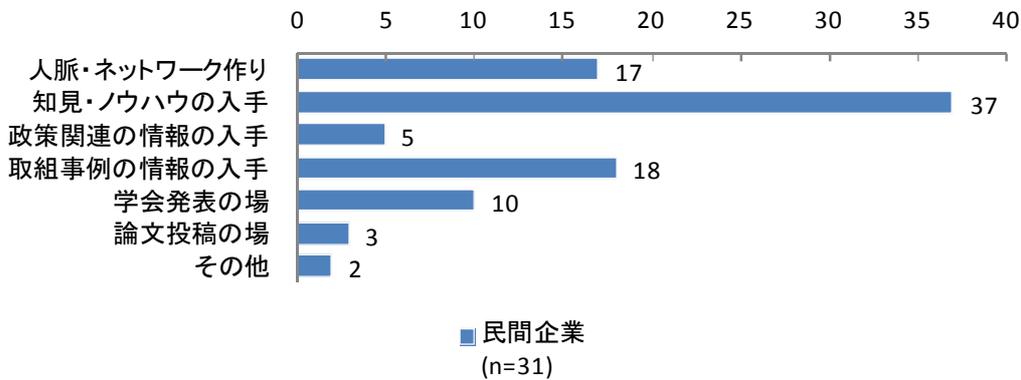


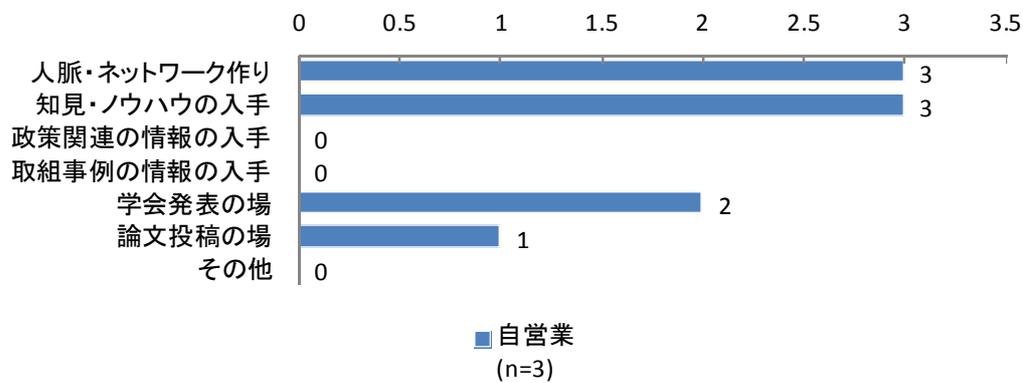
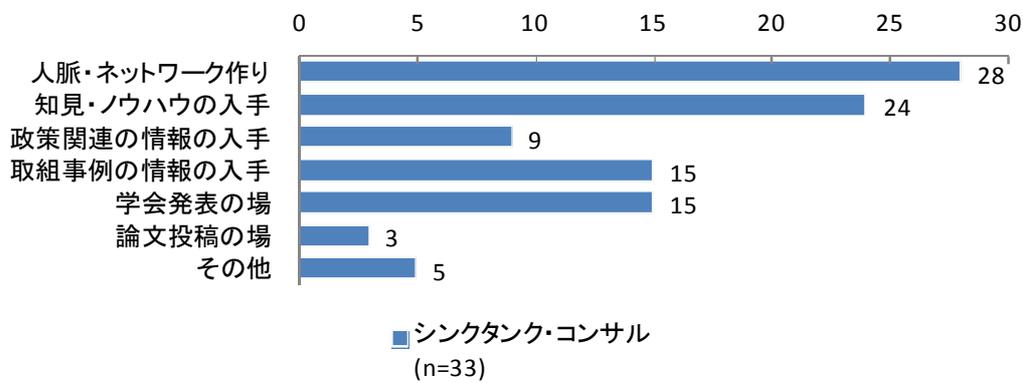
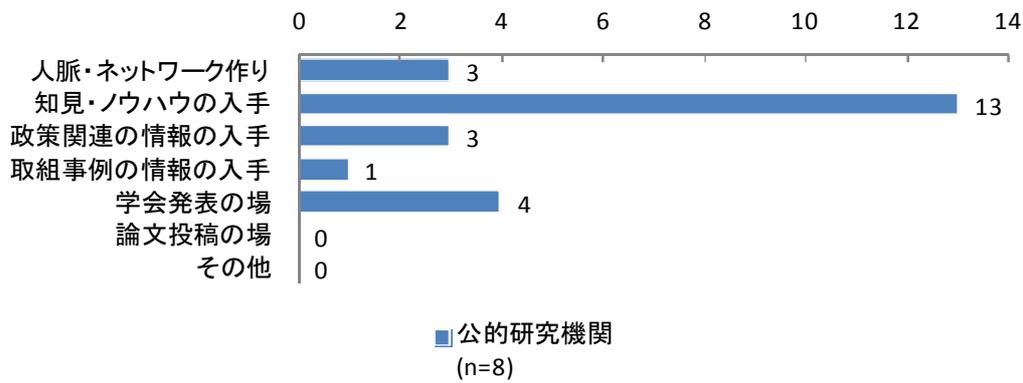
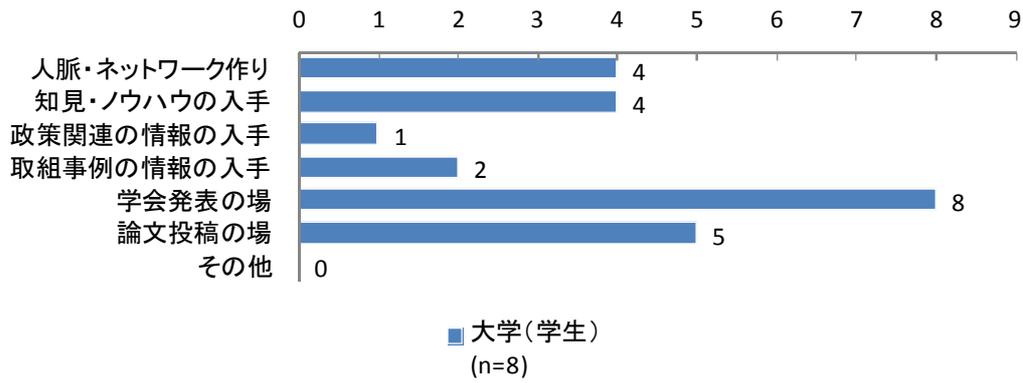
※最も重要な目的を2点+次に重要な目的を1点として計算

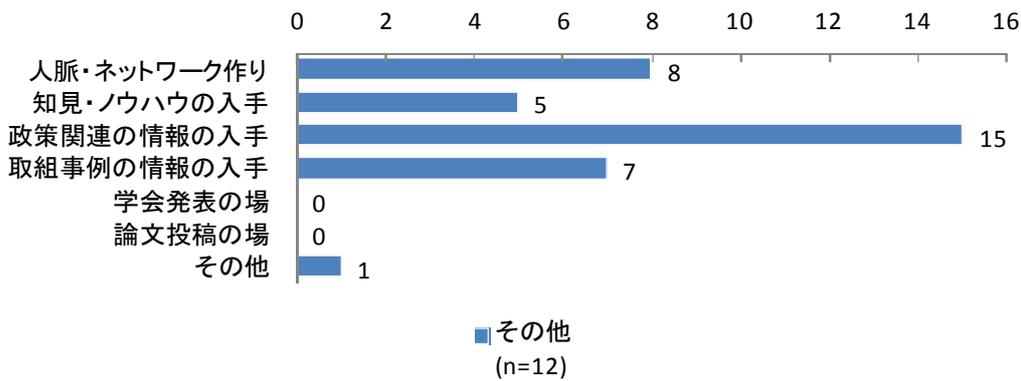
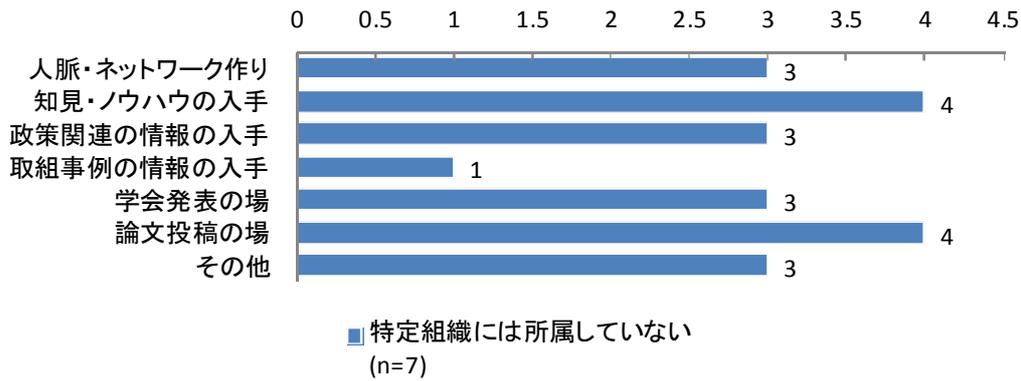
〔全体集計〕



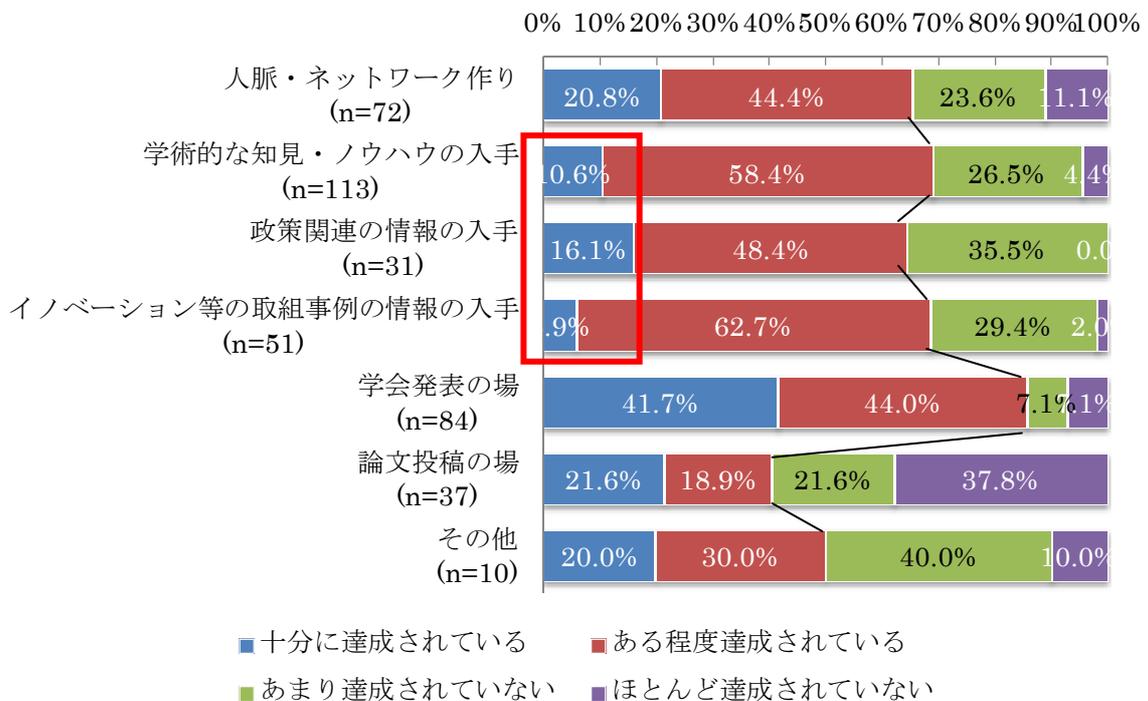
〔所属組織別集計〕







問2-3：これらの目的は達成されているとお考えでしょうか。それぞれについて、当てはまるものを1つ選んで下さい。

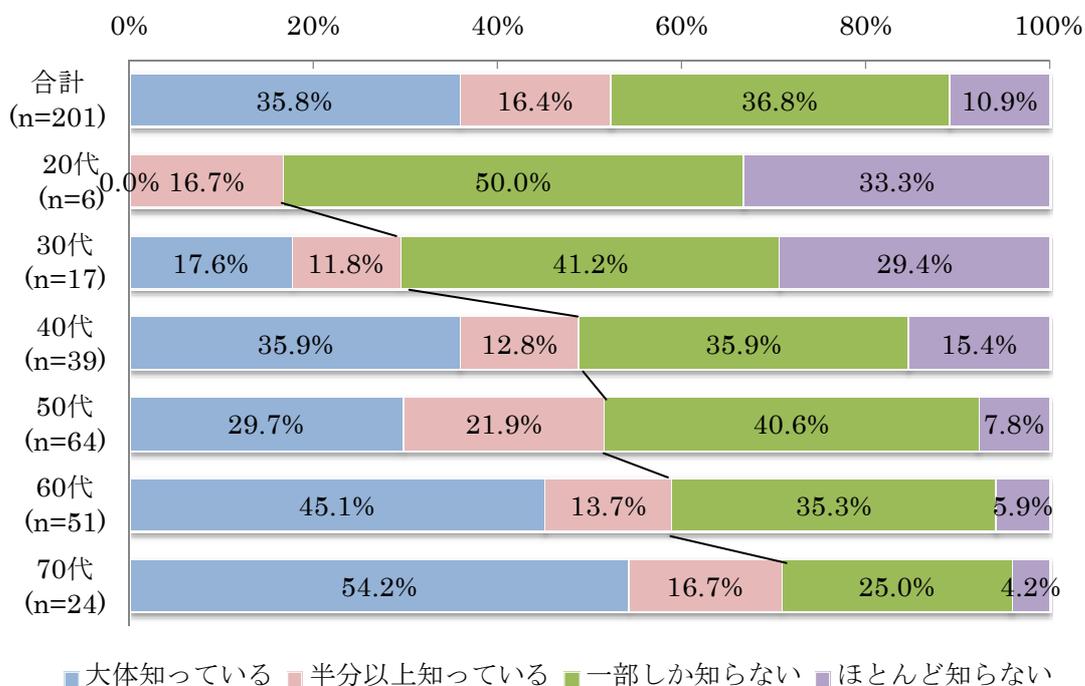


### 3. 分科会活動について

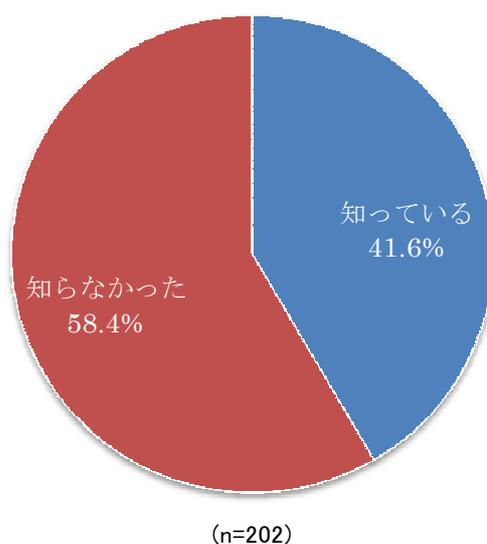
問3-1：現在、9つの分科会活動が行われていますが、どのような分科会が存在しているか、知っていますか。

該当するものを1つ選んで下さい。

〔年代別集計〕

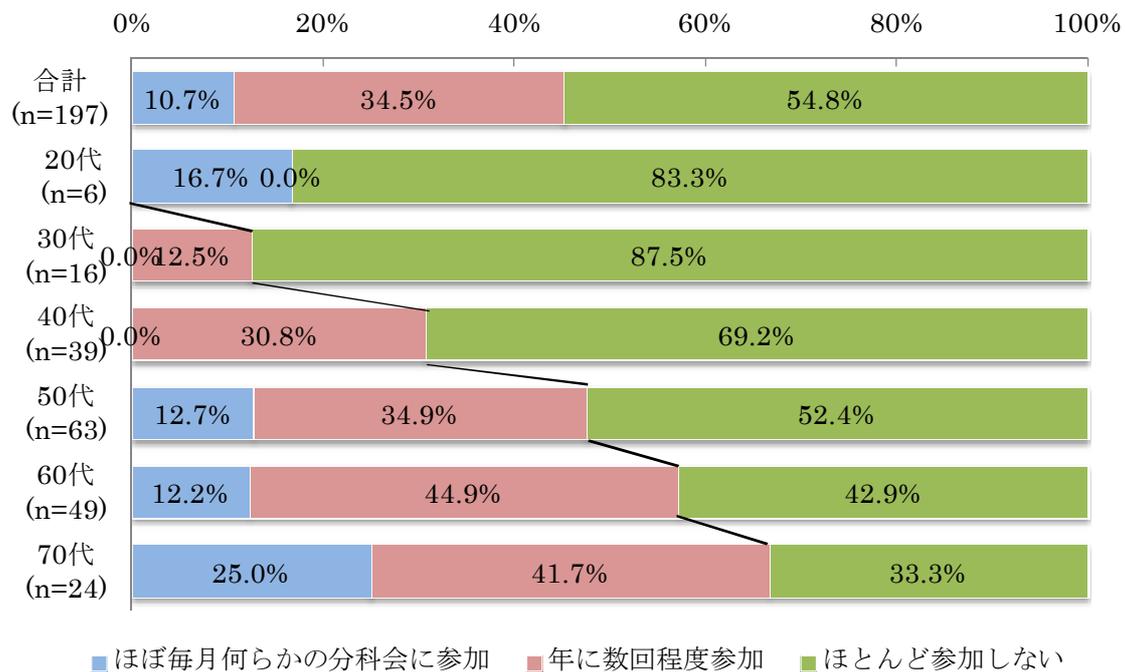


問3-2：今期より、メールでの案内であれば、無料でいくつでも分科会に登録できるようになったことをご存知ですか。該当するものを1つ選んで下さい。

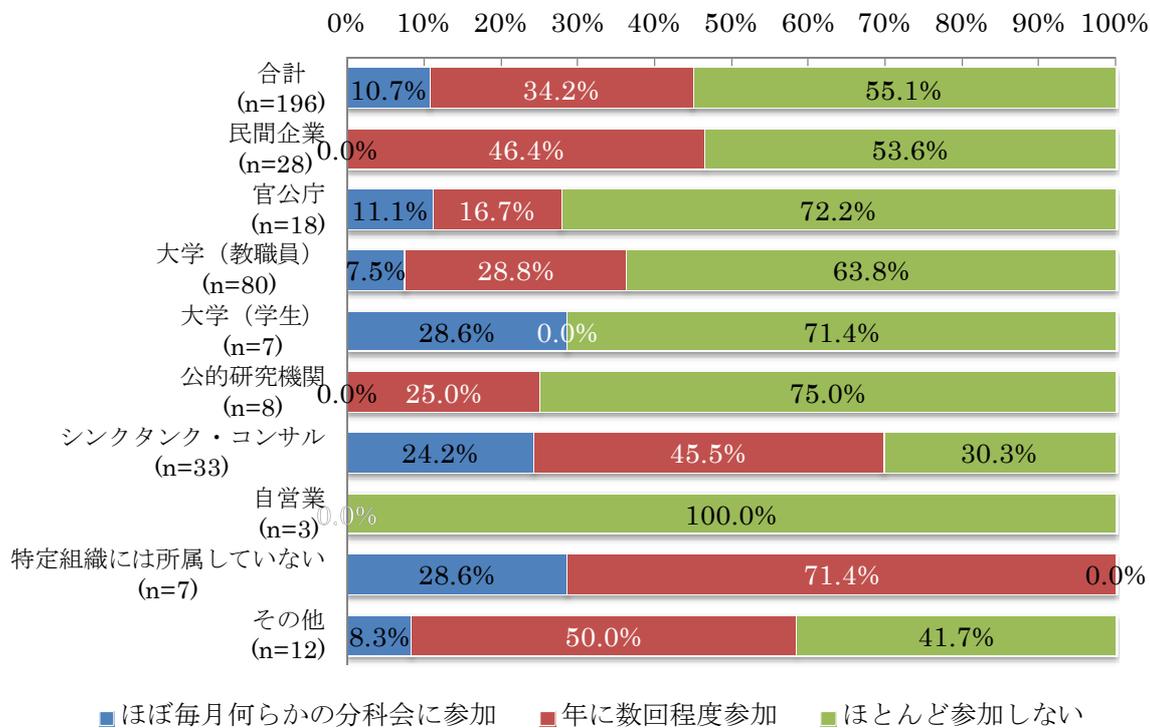


問3-3：これらの分科会活動に参加していますか。該当するものを1つ選んで下さい。

〔年代別集計〕

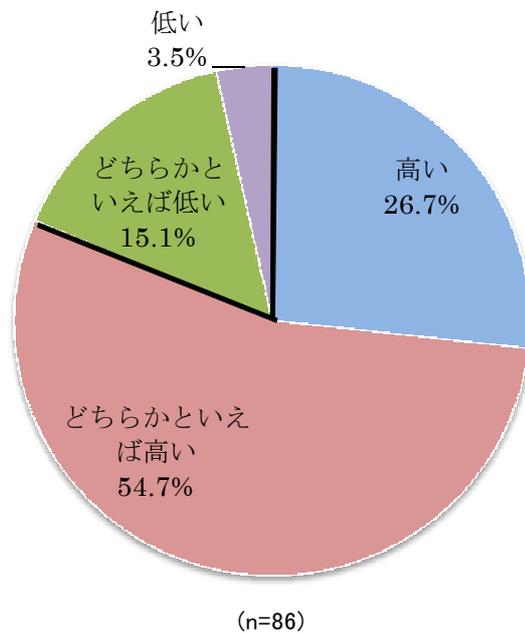


〔所属組織別集計〕

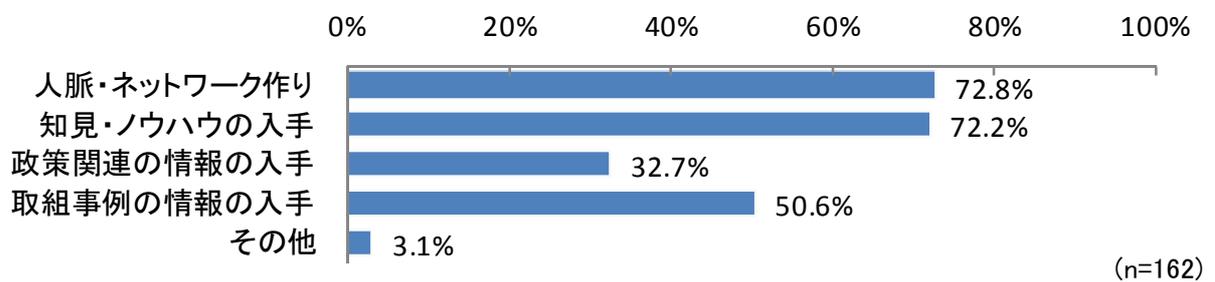


問3-4:分科会活動に参加されている方にお伺いします。分科会活動に対する満足度はどのくらいでしょうか。

該当するものを1つ選んで下さい。



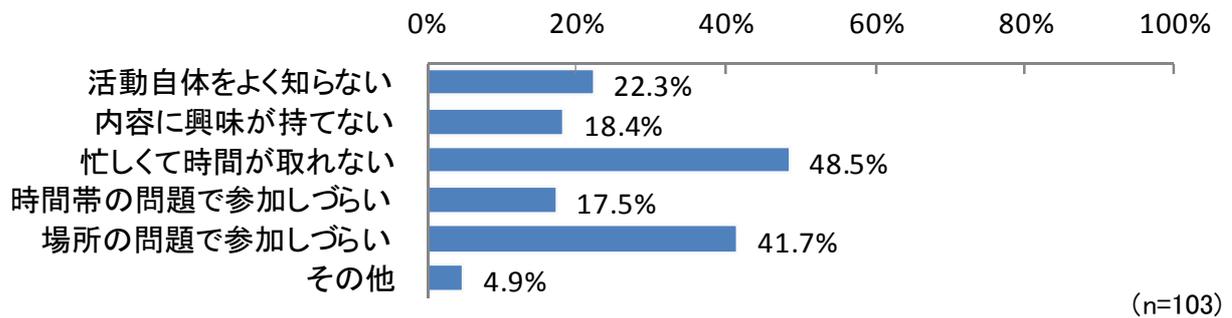
問3-5:分科会活動のメリットは何だとお考えでしょうか。該当するものを全て選んで下さい。(複数回答可)



#### その他の回答

- ・特にない
- ・実践的知見・情報の入手
- ・実務に活かせる知見・情報の入手

問3-6：分科会活動にあまり参加されていない方にお伺いします。分科会活動にあまり参加されない理由は何でしょうか。該当するものを全て選んで下さい。(複数回答可)



#### その他の回答

- ◇ 分科会そのものが開催されない。
- ◇ 興味のあるテーマの時に参加
- ◇ 今年入会したばかりのため。
- ◇ 一つだけは、ほぼ毎回参加している。
- ◇ 大御所中心の特定会員のサロンのようで、参加しにくい雰囲気がある
- ◇ 入会したばかりである

問3-7：分科会活動において改善して欲しい点などありましたらご記入下さい。(自由記述)

- ◇ 東京ばかりでなく地方での活動も考慮していただきたい。(40代/大学(教職員))
- ◇ 年間でスケジュール化していただきたい。一ヶ月前の告知では対応できません。(40代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 参加できない会員のために資料が入手できるようにしてほしい(50代/大学(学生))
- ◇ 年会費低減のため開催経費削減に努めて欲しい(40代/官公庁)
- ◇ ほとんど活動していない分科会を活性化すべき。開催頻度を上げることが先決だが、それが不可能であれば最低でも活動計画を示して欲しい。・似たような内容の分科会は統合・整理した方がよいのではないか。(40代/民間企業)
- ◇ 1分科会限定が外れたということなので、今後、登録分科会以外への分科会への参加を心掛けたい。(40代/大学(教職員))
- ◇ 新参加者が参加しやすい体制になると良い。(30代/大学(教職員))
- ◇ 開催日時・テーマ等の年間計画の提示(国際問題分科会が好例であり素晴らしいです。スケジュール調整しやすく大変助かっております)(40代/民間企業)
- ◇ 若手の登用や、テーマの硬直化回避のため、任期制にして、定期的に主査を変えた方が良いと思う。(50代/シンクタンク・コンサル)

- ◇ 質の充実。(30代/大学(教職員))
- ◇ 活発な分科会活動に傾斜的に予算を充実(分科会間で活動の粗密が大。にもかかわらず予算面での配慮は皆無。結果、多くの潜在可能性を死蔵)(70代/大学(教職員))
- ◇ 今年度からメールでの案内(複数の分科会)を申し込んだのに、まだ一度もどの分科会からも案内がない。昨年度までは、案内があって、かなりの割合で参加していた。(50代/大学(教職員))
- ◇ イノベーション関連分科会が3つある。2つ乃至1つに集約すべきではと思います。(70代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 東京以外でも開催してほしい。(40代/大学(教職員))
- ◇ 早めの案内がほしいこと。メルマガなどで連絡があるとよい(70代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 参加者へ配付するプレゼン資料がときに用意されていない場合があります。当日の講師の方には、簡単なものでも配付用としてご用意いただきたいと存じます。(50代/大学(教職員))
- ◇ 各分科会の代表者の新陳代謝(50代/大学(教職員))
- ◇ 地方に勤務在住のため、参加できていません。(50代/官公庁)
- ◇ 地方でも分科会を開催してほしい。(50代/大学(教職員))
- ◇ 開始時刻が18時から19時の間の設定が多いが、会場の都合の問題が無いならば、17時から18時の間にスタートし、19時から20時の間に終了する方が、遠方からの参加者には有り難いし、昨今の企業の状況(企業差があるかもしれないが)にもマッチするのではないか。(60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 最新動向や事例の深い分析(60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 無理でしょうが、関西での分科会もお願いしたい。(関西支部の会議には時々参加しています)(60代/公的研究機関)
- ◇ 分科会活動という名の下に、蛸壺化している。(40代/大学(教職員))
- ◇ 情報発信の強化(プレゼン資料などの配信)(50代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 多くの人に参加してほしいが、難しい。(人が集まらない)(60代/大学(教職員))
- ◇ 民間企業の方にもっと参加してほしい。(50代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ ML参加等の方法があればよい。(50代/民間企業)
- ◇ 大学の先生より実務家の発表のほうがおもしろい(60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 学術的な知見や意見交換するために学術者を中心とする会運営をより多くすべき。2.そして、その場合、学術的なテーマを深く掘り下げる会運営が望まれる。(60代/大学(教職員))
- ◇ 各分科会の活動日を年間計画で知りたい(50代/大学(教職員))
- ◇ 複数分科会の参加の敷居をもっと低くすることが必要。(40代/官公庁)
- ◇ シンポジウム等参加費の低減(40代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 分科会の開催をメールで知らせていただいただけるといいと思います。(60代/大学(教職員))
- ◇ 開催が不定期のため予定が取りにくい。できるだけ場所と開催期日が決っていると参加し易い。(70代/特定組織には所属していない)

- ◇ 東京以外でも開催してほしい（60代／大学（教職員））
- ◇ 縁者もテーマも上手に選定していただいて、よくやっています。（60代／大学（教職員））
- ◇ 参加していないので何とも言えないが、この種の会は、一般に地方から参加が難しい。（70代／大学（教職員））
- ◇ 社会問題の課題を上げリーダーを中心にした議論の場（70代／シンクタンク・コンサル）
- ◇ 全国学会ですので、地域ブロックにして支部を設立し、支部と連携して分科活動を行う。（50代／大学（教職員））
- ◇ 分科会登録しても案内が来なかったりするので、きちんと登録できるシステムをつくってほしい。学会費を払う用紙にただ記入させるだけで、しっかり管理されていないように見える。（40代／大学（教職員））
- ◇ 関西地区でも活動を多くしてほしいです。（30代／大学（教職員））
- ◇ IM分科会、イノベーション交流分科会、イノベーションフロンティア分科会は、タイトルだけ見るとどのように違うのかが分かりにくいと感じます。（30代／シンクタンク・コンサル）
- ◇ 活動内容をもっと知りたい。（50代／民間企業）
- ◇ 育児のため、夕方から夜の時間帯の参加は難しく、時々で構わないので平日昼間の開催をしてほしい。また、分科会としてのアウトプットは、年次大会や総会等で報告されたり、企画に反映されているのでしょうか（よく分かっていないため、申し訳ございません）。（30代／官公庁）
- ◇ 関西にいるので、関西でも分科会を開催してほしい。（50代／大学（教職員））
- ◇ リーダーがご多忙で調整選定が困難な故もあってか、嘗ては海外のゲストスピーカーの参加が頻繁であったのが、最近は日本人スピーカーばかりで残念です。（60代／その他）
- ◇ 参加者の高齢化。若い世代の参加を増やして活発な環境になればと願う。また、大企業の参加者が多いと思われるが、企業規模に関係なく多彩な人材の参加ができる状況を生み出せたらと思う。（60代／その他）
- ◇ 分科会の幹事をしていますが、PRの場として非会員へも積極的に告知し、学会員と非会員を明確にした参加者人数を事務局へ伝え、非会員動員も活動実績とみなしていただきたく思います。分科会へ参加くださった非会員へ学会の簡単なPRパンフなどがあるとよいかと思います。（50代／シンクタンク・コンサル）

問3-8:分科会活動において今後取り上げて欲しいテーマ、ジャンルなどありましたらご記入下さい。(自由記述)

- ◇ エネルギー関連、とりわけ低公害自動車絡みの分科会があっても面白いかもしれない。(40代/大学(教職員))
- ◇ ASEAN ビジネス (40代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ ソーシャルベンチャーも取り上げて欲しい (50代/大学(学生))
- ◇ 地域問題も扱ったら良いと思う。(30代/大学(教職員))
- ◇ 経営戦略関連 (50代/大学(教職員))
- ◇ アカデミックな分科会と共に実践的ビジネスに繋がる分科会が必要です。後者の分科会は幅の広い (70代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 日本での最新のイノベーションの事例と手法 (70代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 技術力評価指標や尺度についての知見や研究内容 (50代/大学(教職員))
- ◇ 社会福祉と科学技術政策の連動 (40代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 知財戦略、知財価値 (50代/民間企業)
- ◇ 社会実装のための事業スキーム (50代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ やたらに「聞く」のは、日本的なのかもしれないが、各分科会は、勝手にやりたいことをやり、主張・提案を発信すれば良いのではないかと。(60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 研究開発における異業種間でのコラボレーションの課題など (40代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 外資系企業の実態、M&A等の動向、国際的なインテグレーション事例等 (60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 歴史研究 (60代/その他)
- ◇ この学会そのものが、社会にどのように貢献してきたのか、これからどのように貢献するつもりなのか、企業の経営の視点から今一度問い直しても良いと思う。企業の健全な質的成長あつての研究開発活動であり、研究開発至上主義は疑問である。(40代/大学(教職員))
- ◇ 中小企業研究、地域研究、教育研究 (60代/大学(教職員))
- ◇ ロボティクス、AI、未来洞察、社会の全体最適 (50代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ イノベーションの失敗事例の紹介 (60代/大学(教職員))
- ◇ 知的財産管理、知的財産戦略 (50代/民間企業)
- ◇ 未来洞察と戦略策定 (60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 女性技術者との協働 (50代/大学(教職員))
- ◇ 社会をシステムとして考えた場合、システムが創発する科学技術群(科学技術要素のネットワーク)の内容・目標および目標値へ誘導するマネジメントのあり方について (60代/大学(教職員))
- ◇ ライフサイエンス分野 (50代/大学(教職員))
- ◇ 今の内容で十分改善されたと思うが、分科会をまたがる交流が必要。(40代/官公庁)
- ◇ 高齢者の活躍を推進するための調査・研究の分科会を設けてはどうでしょう。(70代/特定組織に

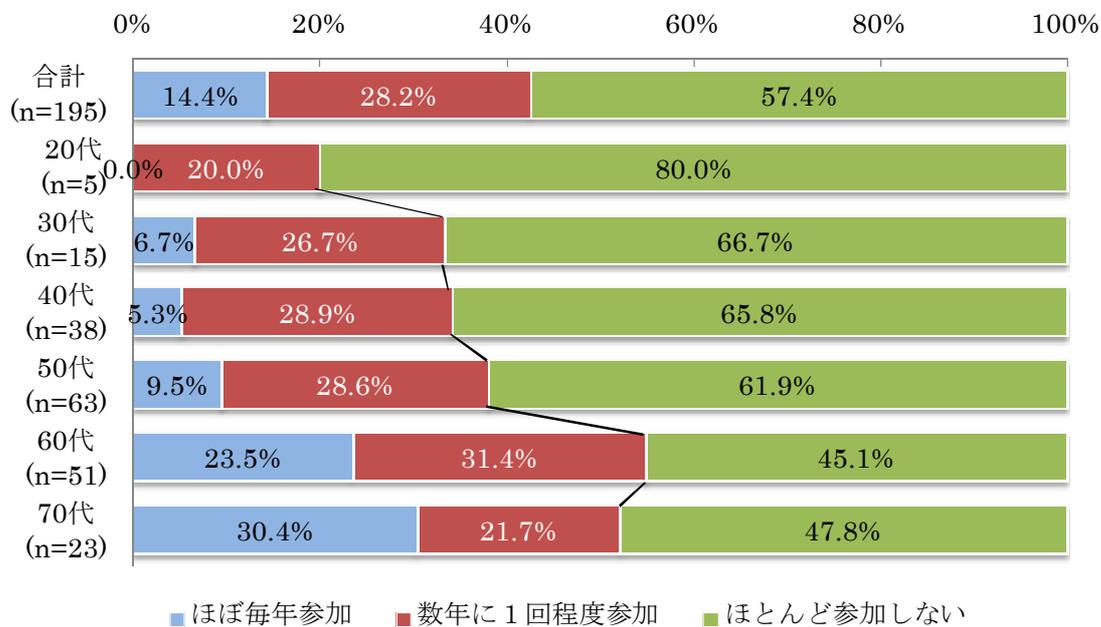
は所属していない)

- ◇ ITの進化により、人と機械との競争が発生し、雇用が奪われる危険性があると言われている。このような変化の分析と、もし事実なら、それを改善する新たな教育への取組みなど(60代/大学(教職員))
- ◇ 先進諸外国、できれば途上国の状況を取り上げてほしいと思う。(70代/特定組織には所属していない)
- ◇ ビジネスモデル論、ビジネスモデルデザイン方法論、PPP領域におけるMOT、21世紀社会と科学技術、未来予測・マクロトレンド(Future of the Picture、Global Outlook etc.) (60代/民間企業)
- ◇ 海外進出などのグローバル企業や研究事例(50代/民間企業)
- ◇ 所属している分科会では、テーマ、ジャンルが絞られていて、問題はありません。(70代/その他)
- ◇ エネルギー政策、選挙制度、地域活性化への体制(70代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 科学と技術の関係、科学の基本的性格、科学の持つ限界、技術の性格、(70代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 企業のM&Aの評価、グローバルマネジメント(60代/大学(教職員))
- ◇ 女性研究者による産学連携、大学発ベンチャー創業事例(50代/大学(教職員))
- ◇ 若手育成(研究者、科学的知見を活用する実務家含む)、特に融合領域や課題解決型の領域における育成の在り方・マネジメント人材の高度化、定着(30代/官公庁)
- ◇ 日本企業(特に技術力のある中堅・中小企業)の海外展開(50代/大学(教職員))
- ◇ 産総研で試された独法化、独法改革の総括、産総研の論文数が減少している要因の分析結果(50代/公的研究機関)
- ◇ 海外有力企業メンバーによる、企業としてのイノベーション活動の実態紹介(特に問題点对処策)(60代/その他)
- ◇ 人材育成、人材多様性下の組織運営、ムラの功罪を冷静に検証する。(60代/その他)
- ◇ 地域中小企業のイノベーション創出 他(50代/シンクタンク・コンサル)

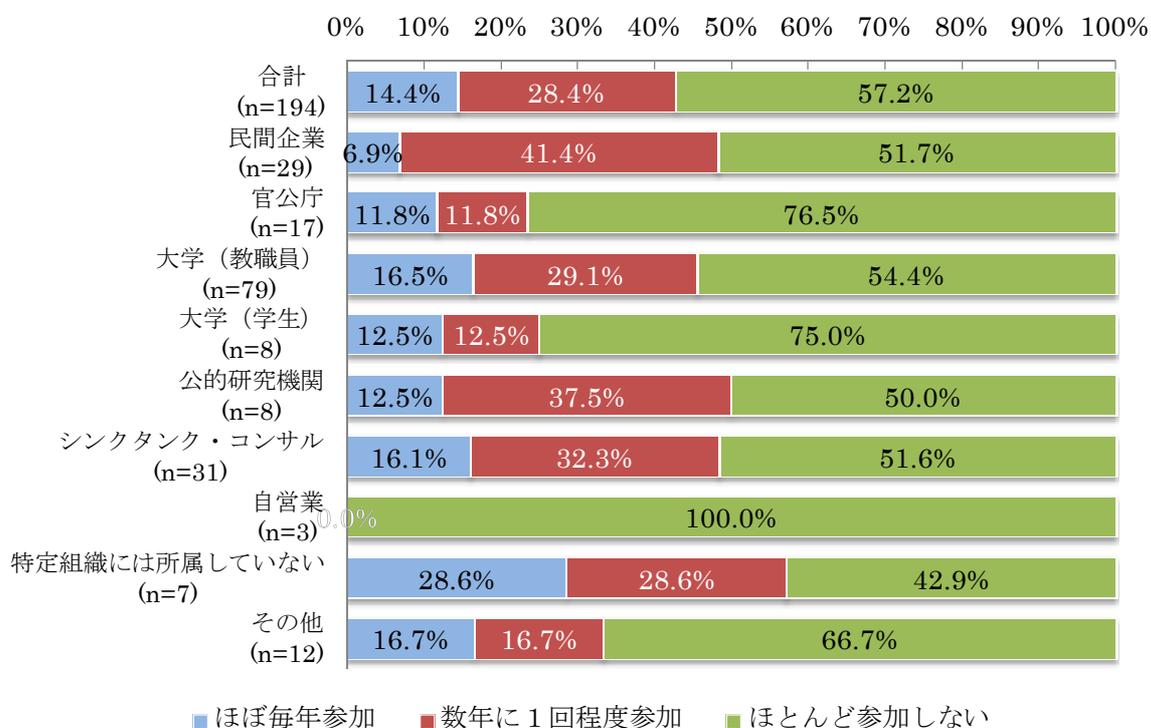
#### 4. シンポジウムについて

問4-1：シンポジウムによく参加されますか。該当するものを1つ選んで下さい。

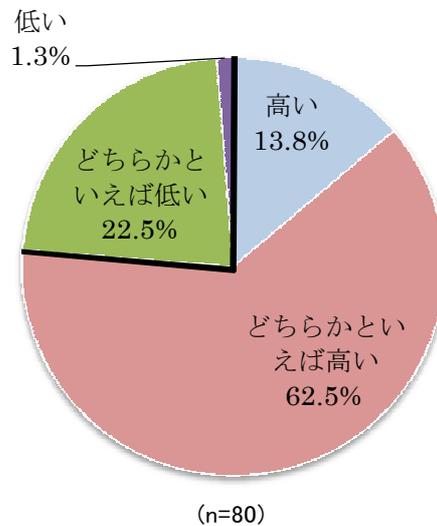
〔年代別集計〕



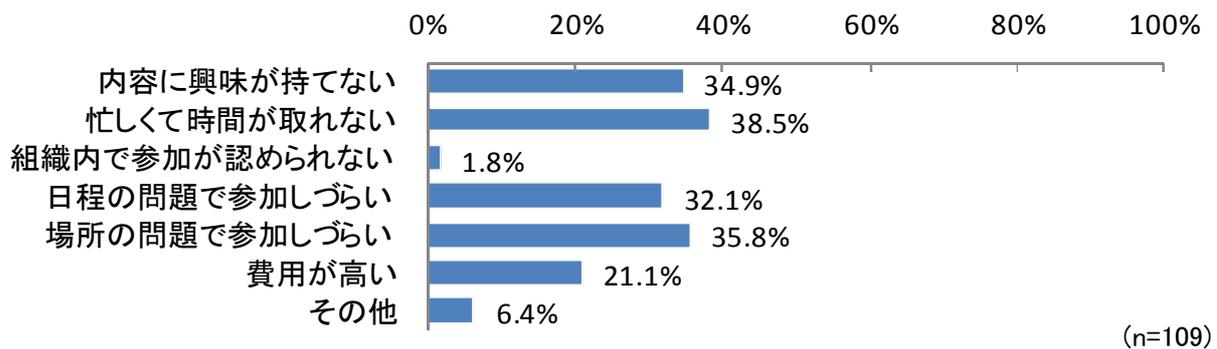
〔所属組織別集計〕



問4-2：シンポジウムに参加されたことがある方にお伺いします。シンポジウムに対する満足度はどのくらいでしょうか。該当するものを1つ選んで下さい。



問4-3：シンポジウムにあまり参加されていない方にお伺いします。シンポジウムにあまり参加されない理由は何でしょうか。該当するものを全て選んで下さい。(複数回答可)



#### その他の回答

- ◇ 会員になったばかりです
- ◇ シンポジウムを開催していたことを知らなかった。
- ◇ 経費がない
- ◇ 昨年末に学会に参加したばかりで機会がありませんでした。
- ◇ 興味のあるテーマの時に参加
- ◇ 気づかぬうちに終わってしまっていることが多い
- ◇ シンポジウムの情報を見ていない。
- ◇ 近年は、ほとんどシンポジウムが開催されていないのでは？
- ◇ 入会したばかりである

問4-4：シンポジウムにおいて改善して欲しい点などありましたらご記入下さい。(自由記述)

- ◇ 何よりも優秀な人を呼んで来て、この人が話すなら参加して聞いてみたい、というものにする  
こと(60代/大学(教職員))
- ◇ 年会費低減のため開催経費削減に努めて欲しい(40代/官公庁)
- ◇ シンポジウムを土日開催にするか、平日に開催するのであればもう少し具体的なテーマで開催  
した方がよいのではないか。大局的なテーマのシンポジウムを平日に開催している現状では、どう  
しても仕事が優先になってしまいシンポジウムに参加しにくい。(40代/民間企業)
- ◇ シンポの内容が総花的で興味が持てない。(40代/大学(教職員))
- ◇ 集客が低調であること。(50代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 折角の素晴らしいスピーカーを招聘しても、それなりの数及びレベルの聴衆が参加してくれな  
ければ、主催者・スピーカー双方に失望・不満を与える結果となる。明らかに高額すぎると思われ  
る参加費の低減(あるいは無料化)など、早急に改善を要すると思われる。(50代/官公庁)
- ◇ 発想が事大主義的。もっと超斬新な発想が不可欠。(70代/大学(教職員))
- ◇ 休み時間等、もっと余裕が欲しい。(40代/大学(教職員))
- ◇ 系統だった話が聞けるとよい(70代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 地方開催は可能でしょうか(40代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 新事業創出事例、M&A成功失敗事例の分析などが取り扱われると参考になります。(50代/民間  
企業)
- ◇ 毎年のテーマにあまり変化が感じられない。(50代/官公庁)
- ◇ 地方で開催してほしい。(50代/大学(教職員))
- ◇ 日程、テーマは可能ならば、より早く(ex.3か月前くらい)公表して欲しい(個人のスケジュール  
調整)(60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 産業界の最新動向(競争優位の条件変化の本質、新事業への転換戦略、産業政策の将来像等)や  
事業モデルの変革を遂げた企業トップ(60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ パネル討論の充実(60代/大学(教職員))
- ◇ 開催地が東京だけでなく、関西、福岡でも開催されるとありがたいです。(50代/民間企業)
- ◇ 実務家の話を中心にすえて欲しい(大学の先生はイノベーションを理解していない方が多い)(60  
代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 学術的見地からの内容を増やしてほしい。2.最先端の理論や研究に基づくシンポジウム内容を  
聞きたい。(60代/大学(教職員))
- ◇ 廃止しても問題がない。(40代/官公庁)
- ◇ 参加費を他の学会並みに安くすべき。研究費を持たない学生や一般社会人にハードルが高い。紀  
要などを簡略化すればコストは下がる。誘っても会費の高さで敬遠される。(60代/大学(教職  
員))
- ◇ とても革新的とは見えない企業の方々が講演することが多い。思いつき出話のようで興味がわかない。

(60代/大学(教職員))

- ◇ 企業内での技術開発に関して、もっと具体的に紹介して欲しい。企業宣伝になっても良い。どのような考え方によって始めたのかを知りたいと思うが、語られることが少ない。(70代/特定組織には所属していない)
- ◇ 通常の世の中のタブーに触れるようなもう少し深い議論を期待したい。当たり障りのない範囲での議論であれば、それほど意味があると思えない。(70代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 創設的提案とそれに対する批判的/支持的検証論が行われ、より高次の提案に昇華できるようなシンポジウムの組み方があってもよいのでは。(70代/特定組織には所属していない)
- ◇ 関西でも開催してほしい。(50代/大学(教職員))
- ◇ もう少し頻度が高ければ、興味のあるテーマに出会えるのではないか。(50代/公的研究機関)
- ◇ 興味深い内容のことが多いのですが、仕事としていける立場ではないため、地理的なものやスケジュールの制約で、残念ながら、現在まで参加したことがありません。(30代/大学(学生))

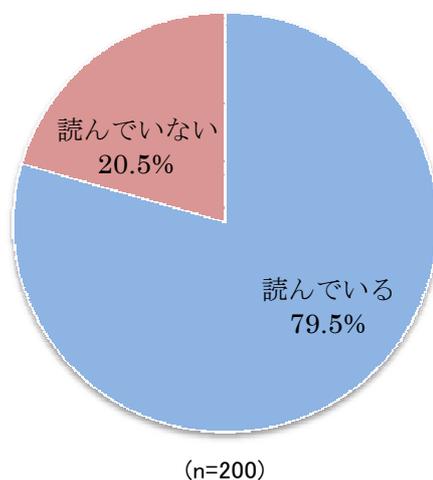
問4-5:シンポジウムにおいて今後取り上げて欲しいテーマ、ジャンルなどありましたらご記入下さい。(自由記述)

- ◇ ASEAN ビジネス (40代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 大学の運営 (40代/大学(教職員))
- ◇ 地域問題(活性化) (30代/大学(教職員))
- ◇ 日本ではあまり知られていない海外での不気味な胎動。異学会の注目すべき接点。(70代/大学(教職員))
- ◇ 実践的分科会(たとえば人材問題分科会に代表されるもの)の数を増やす方向を希望します。(70代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 民間企業が興味をもつような経営現場の最先端のテーマ (50代/大学(教職員))
- ◇ 海外での最新事例 (70代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 日本版 NIH (50代/民間企業)
- ◇ 新事業創出事例、M&A 成功失敗事例の分析などが取り扱われると参考になります。(50代/民間企業)
- ◇ ビックデータを活用したイノベーション (40代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 新産業創造、国際競争における経営構造の革新、V字回復企業の戦略 (60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ イノベーション継続を可能とする社会・経済等の外的環境の探求 (70代/その他)
- ◇ 日本社会は(本会も)、多様化・専門分化が進み、部分最適型社会に陥っている。今後は社会・科学・技術を統合的かつ長期的に俯瞰する術が必要だ。「社会と科学技術のメタ認識を科学する(政策技術)」はどうか? 現今の日本の失敗は部分最適解を統合できないからだ。(70代/大学(教職員))
- ◇ 実務家の話が多いが、本格的な学者の話も聞きたい。(60代/大学(教職員))

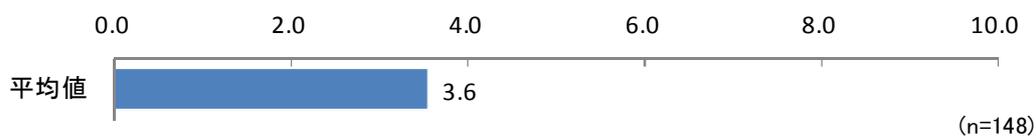
- ◇ ここでしか聞けない(先進的)内容がある。(50代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ イノベーションはなぜ失敗するのか(60代/大学(教職員))
- ◇ 知的財産のグローバル管理(50代/民間企業)
- ◇ 未来洞察と戦略策定(60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 人材育成、教育(30代/大学(教職員))
- ◇ 動的(ダイナミック)な場のマネジメントのあり方及び研究組織への適用2. 地球の温暖化または寒冷化の両学説者の対談およびそれぞれの科学技術上の対策3. アート要素(創造的感情)を活用した創造的組織の形成(60代/大学(教職員))
- ◇ 最新のイノベーション事例報告など(50代/大学(教職員))
- ◇ CPS(Cyber Physical System)、IoT(Internet of Things)などに絡むビジネス、戦略構想ロボットに関わる幅広い影響をRT(Robotics Technology)という広い視野で検討(60代/大学(教職員))
- ◇ 工場を海外に移転させるとか、海外展開についての企業としての考え方を述べないと、技術開発の根本が理解しにくい。つまりグローバル化している企業それぞれのポリシーを知りたい。2. 産官いずれも、失敗例なども発表して、研究の対象にして欲しい。(70代/特定組織には所属していない)
- ◇ 地域資源を活かしたビジネス。地域マネジメント。(50代/大学(教職員))
- ◇ 現在のような研究開発で良いのか。研究者が税金を使って良い理由。研究組織におけるトップヘビー構造と上部構造の老齢化。(70代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 集合知、基礎研究と応用研究、multidisciplinary、transdisciplinary research、サイエンスとアートの融合、DIY bio(30代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 広報実務に携わる人の話を聞きたい(当学会の社会的認知を増やす方法の模索のために)(40代/官公庁)
- ◇ 1 小保方事件や早大博士号授与問題など日本の科学者の信用を損なう事態や、福島原発における技術者の対応力喪失など社会からの信用を損なう事態が起きているが、科学者・技術者の在り方に関するテーマ。2 製造業空洞化時代における日本の科学技術基盤の維持と発展方策(70代/特定組織には所属していない)
- ◇ 日本企業(特に技術力のある中堅・中小企業)の海外展開(50代/大学(教職員))
- ◇ 産総研で試された独法化、独法改革の総括、産総研の論文数が減少している要因の分析結果(50代/公的研究機関)
- ◇ 内外企業による発表(学術団体偏重を避けるため)(60代/その他)

## 5. 学会誌について

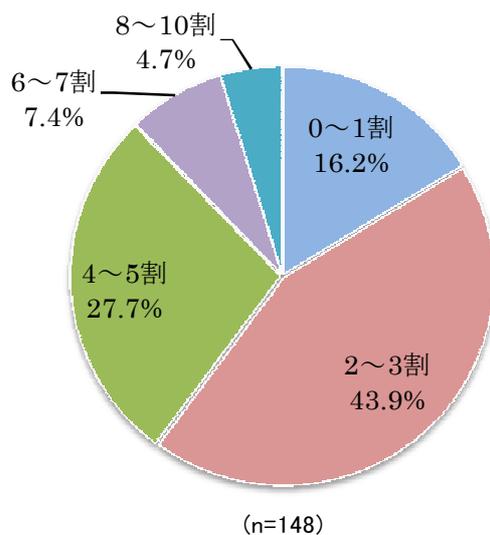
問5-1：学会誌を読んでいますか。1か2を選択して下さい。また、読む方は、記事の何割程度読んでいるかを合わせてご記入下さい。



読んでいる記事の割合の平均値 (単位：割)

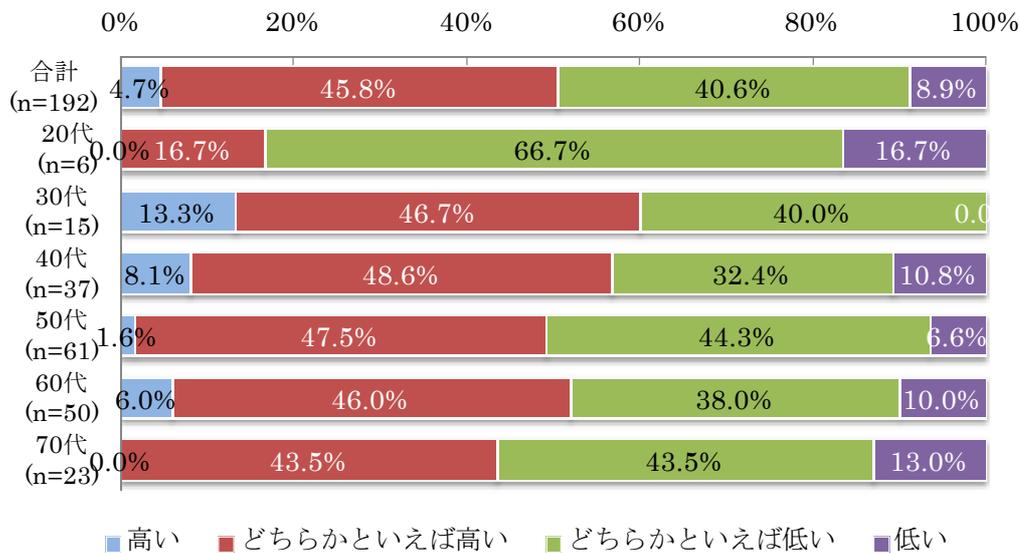


分布

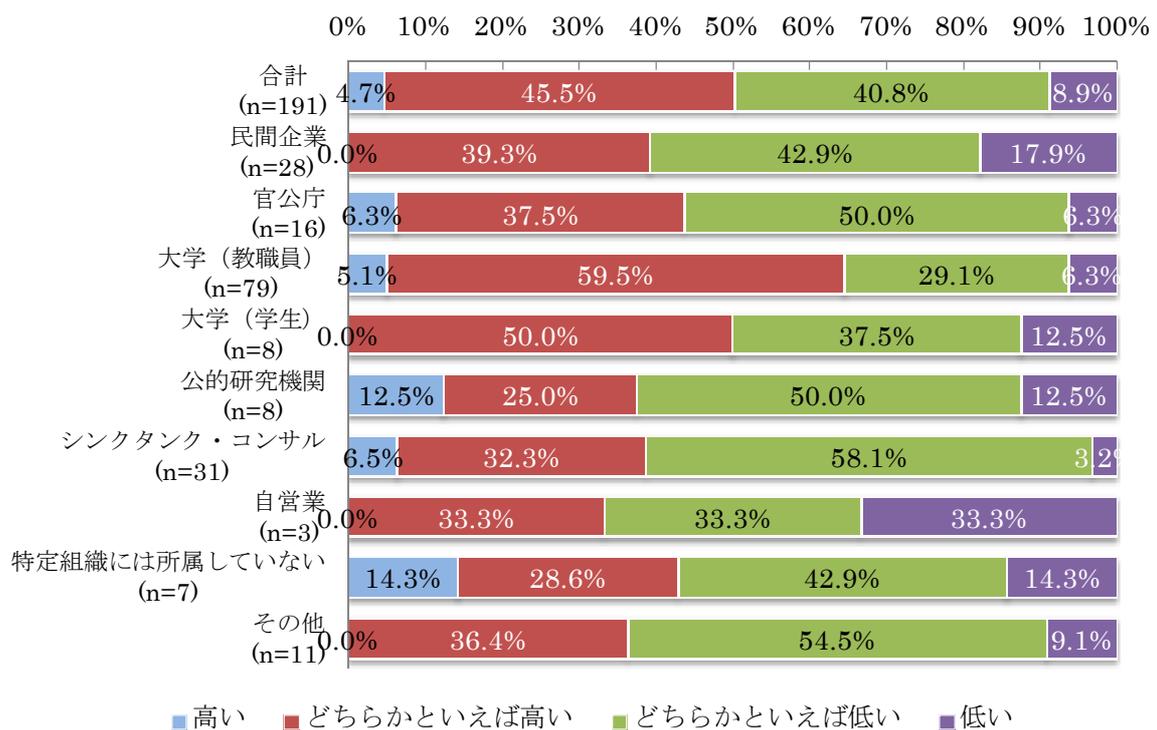


問5-2：学会誌に対する満足度はどのくらいでしょうか。該当するものを1つ選んで下さい。

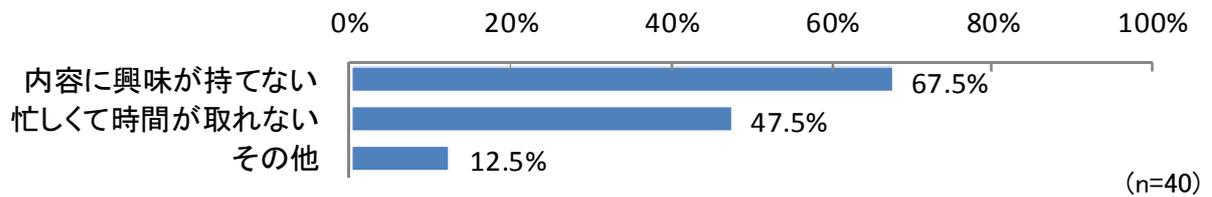
〔年代別集計〕



〔所属組織別集計〕



問5-3：学会誌をあまり読まれていない方にお伺いします。読まない理由は何でしょうか。該当するものを全て選んで下さい。(複数回答可)



#### その他の回答

- ◇ 興味のあるテーマのみ読む
- ◇ 内容に偏り
- ◇ 入会したばかりである

問5-4：学会誌において改善して欲しい点などありましたらご記入下さい。(自由記述)

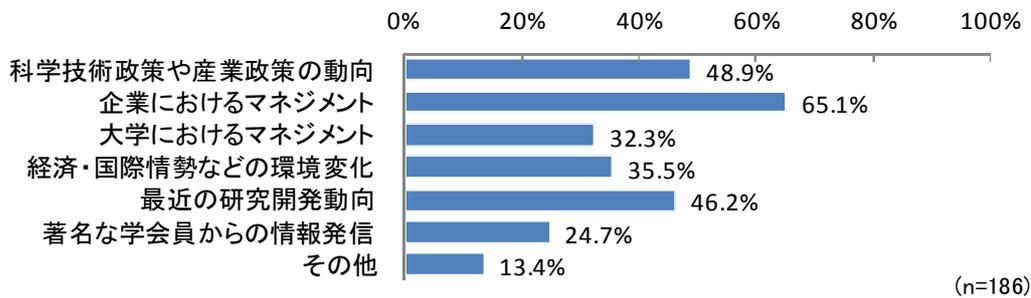
- ◇ 定期的な刊行 (30代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 学会の方針・趣旨にある産業界のテーマが少ない。産業界に役に立つ内容が少ない。(60代/その他)
- ◇ 査読の迅速化および査読本数の増加。(40代/大学(教職員))
- ◇ 一貫性に乏しく、似たような特集が多いので、もう少し読者にとっての価値を高めて欲しい(50代/大学(学生))
- ◇ 発行が極端に遅れており、学会誌として意味をなさない。定期発行を一日も早く実現すること。(70代/特定組織には所属していない)
- ◇ 査読者の専門が偏っている。例えば、計量分析では計量経済学を前提とする手法でなければリジェクトされるのは明確な間違い。学術政策に経済学理論は適用されない。このような状態では会員数は大幅に減ると思われます。もっと多様な人材を編集者に入れる必要があると考えられます。(40代/官公庁)
- ◇ テーマが多岐に渡る学会であるため、自分に関係ないテーマだと読み飛ばしてしまう。どのようなテーマをいつ取り上げるか計画的に特集を組んだほうがよい。(40代/民間企業)
- ◇ ホット 이슈 的なものが少ない。(50代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 発行回数が少ない上に遅い。論文が実務に役立つものが多い。今後、学会が企業人の入会や参加を図る上で、企業に役立つ学会であることを示す必要がある。他の書籍などにはない海外のイノベーション事例、イノベーション研究の解説など企業人が興味をもつ内容にするべき。今は、編集委員会だけでクローズドに運営し、秋の評議員会での説明もない。(50代/官公庁)
- ◇ 少数でもハイクオリティのもの。(70代/大学(教職員))
- ◇ 実践的論文を増やしてほしい(70代/シンクタンク・コンサル)

- ◇ 学術性を維持しつつも民間企業が興味をもつような経営現場の最先端のテーマをもっと掲載して  
いてほしい (50代/大学 (教職員))
- ◇ 投稿論文がもう少し増えればよいと思います。(30代/大学 (教職員))
- ◇ 論文発表のみならず、会員間のコミュニケーションツールとしての側面が欠失しており、対応が  
必要とおもう。(40代/大学 (教職員))
- ◇ 産官学の相互の発表がほしい (70代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ オープン・アクセス化に向けた検討 (50代/官公庁)
- ◇ いわゆる「学術」分析が多いように感じますが、事業革新に向き合う当事者としては、現実の事  
業革新に際しての科学的「方法論」を求めています。この点では IEEE においても企業経営に役立  
つ方法論を示唆する科学的「方法論」の分析が少ないので、むしろ研究・技術計画学会において  
有用な示唆ができれば、差別化要素が高いと考えます。(50代/民間企業)
- ◇ 審査論文の投稿から掲載 (発行) までの速さ (50代/大学 (教職員))
- ◇ 知財戦略、知財価値 (50代/民間企業)
- ◇ 政策に関する内容については、必ずメリット、デメリット (リスク) の両面を記述し、政策の費  
用対効果をどのように考えているかについての意見を踏まえてほしい。特に科学技術政策に関し  
ては、非常に閉じた世界で議論されているように感じる。(50代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ ジャーナル発行後、オープン・アクセスとなるまで 1 年 (or 半年) 程度の時間差が欲しい。(会  
員特権) (60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 特にありませんが、今後も定期的に発行されることを希望します。(40代/シンクタンク・コン  
サル)
- ◇ 狭い範囲の分析が多く、実践的な課題に役に立たない。(60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 定期的な発行 (40代/大学 (教職員))
- ◇ 企業に所属していた者からすると、読みたくなるような記事が全くない。産官学が興味を持てる  
ような内容を増やすべき。(50代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 査読委員に経営学の学者を多くしてほしい。審査基準が高くなりすぎないよう、いろいろな論文  
のジャンルを設けてほしい。(60代/大学 (教職員))
- ◇ 研究ノートなどの掲載 (60代/大学 (教職員))
- ◇ コト作り時代の R&D、未来洞察と戦略策定 (60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 学術論文の形式 (仮説・検証) を重視してほしい。理由は、創造的論文とは先行研究をベース  
に科学的検証に基づき 1 歩でも 2 歩でも進めた論文ではないか考えるから。(60代/大学 (教  
職員))
- ◇ 刊行プロセスの定期化。不可能であれば、電子版での先行公開等の外国のジャーナルと同等の出  
版プラットフォームで対応したらよい。(40代/官公庁)
- ◇ 特集のタイトルぐらいは表紙に入れて欲しい (関心との関連性がわかりやすいので) (50代/シ  
ンクタンク・コンサル)

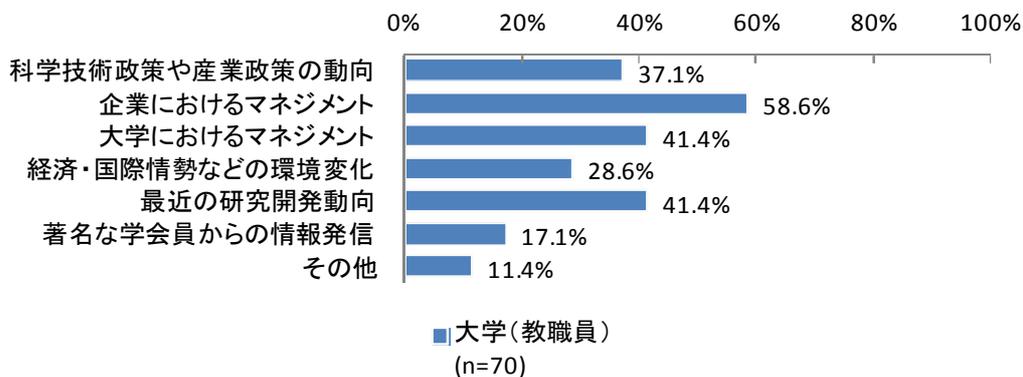
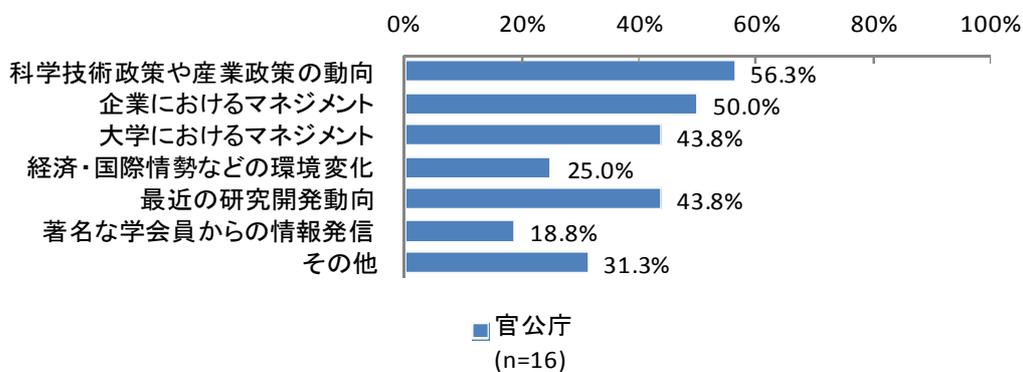
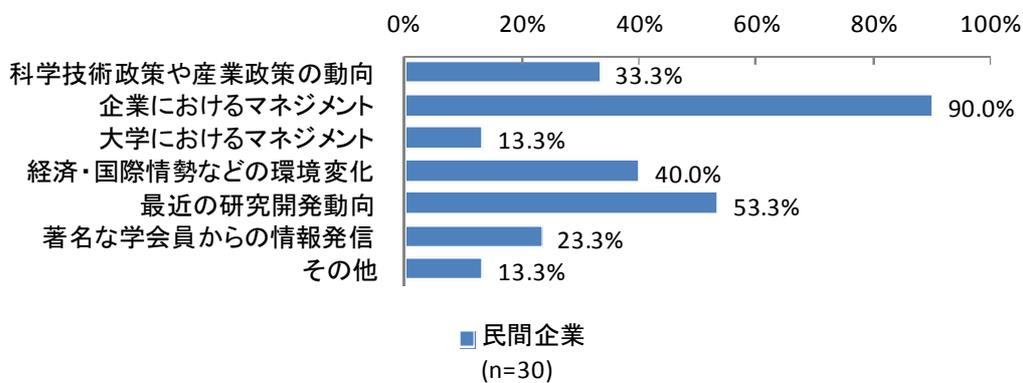
- ◇ 投稿から出版までの期間が長すぎるのではないか。院生など、業績が必要な若い研究者に投稿を薦めにくい。(60代/大学(教職員))
- ◇ 印刷・発行があまりにも遅れている(70代/特定組織には所属していない)
- ◇ 解説が欲しい。とくに国内外の情勢に関して、時宜の解説が欲しい。長いのはよくない。2. 複数の識者の討論が欲しい。たとえば原子力発電所の安全性、ロボット技術の将来、食品の安全性、遺伝子組み換え植物による食品、などなど。(70代/特定組織には所属していない)
- ◇ 採択率等の情報を公開してほしい。(30代/大学(教職員))
- ◇ ほとんど学会誌の体をなしていない。抜本的改革が必要。論文誌なのか会員向けジャーナルなのか(60代/民間企業)
- ◇ 海外の学術文献に比べ、内容レベルがかなり低いものが掲載されている。根拠に基づいた論旨を組むにしても、日本の競争力に直結する視点や海外との比較など、世界的に認知される論文を載せてほしい。(50代/民間企業)
- ◇ 民間企業事例などを取り上げてほしい(50代/民間企業)
- ◇ 巻号年の記述が、一般の学会誌と異なっていた。学位申請の際、3年以内、5年以内などとする参考論文、関連論文として使用できない。本件について、以前に電子メールで申し出たことがあるが、当時は改善が見られなかった。論文にとって、投稿年月日、採択年月日、公表年月日(掲載年月日)は重要である。(70代/その他)
- ◇ 会員どうしのコミュニケーションが促進されるような科学技術政策や技術経営に関する情報コーナーがあるといいかもしれない(40代/大学(教職員))
- ◇ デザインの刷新。分かりやすさ重視。(30代/大学(教職員))
- ◇ かなりレベルの高い論文でないと掲載されにくいので、実務家には投稿しにくい。そこで研究ノートや事例研究などのハードルは下げて、もっと投稿しやすくするとよい。そして、査読期間を短くして、掲載されるまでの時間を短くすること。(50代/大学(教職員))
- ◇ 解説を増やす(50代/公的研究機関)
- ◇ 論文投稿数を増加させるような取組を期待します。(読者の興味範囲の網羅と自身の論文投稿への動機付け)(40代/大学(教職員))
- ◇ 定期刊行(30代/大学(教職員))
- ◇ 紙媒体でなく、ウェブで好きなときに読めると良い。(40代/シンクタンク・コンサル)

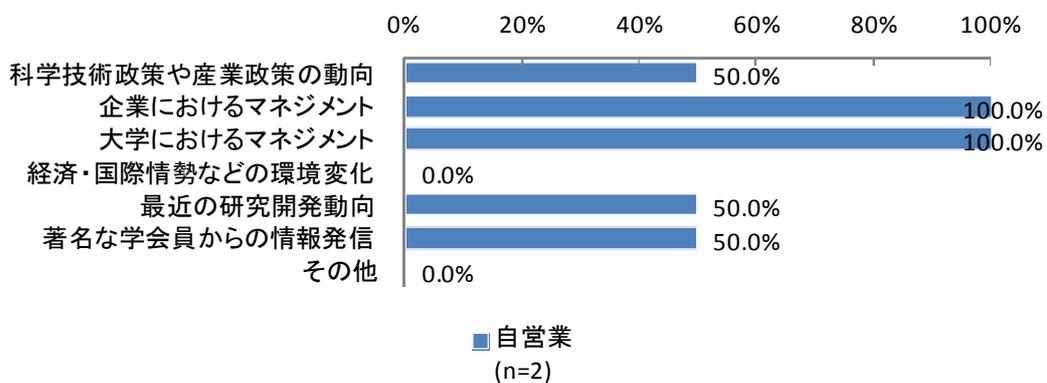
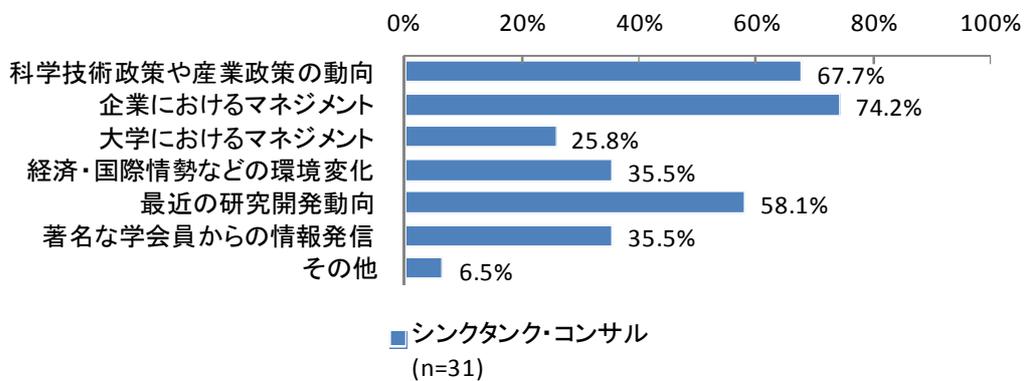
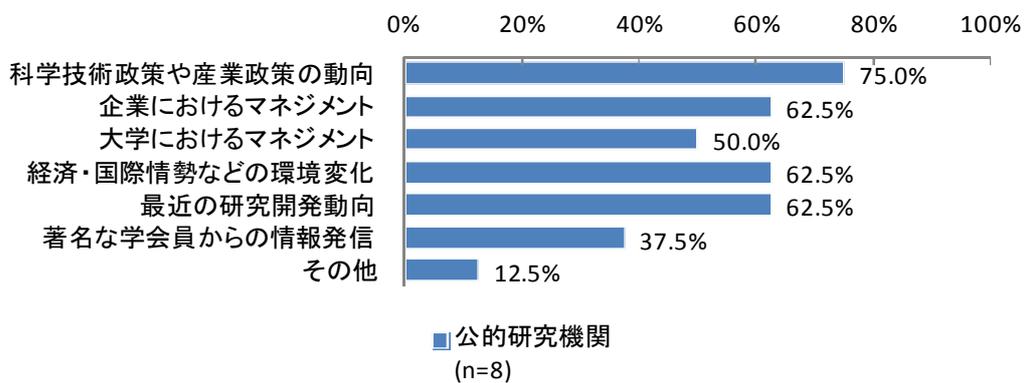
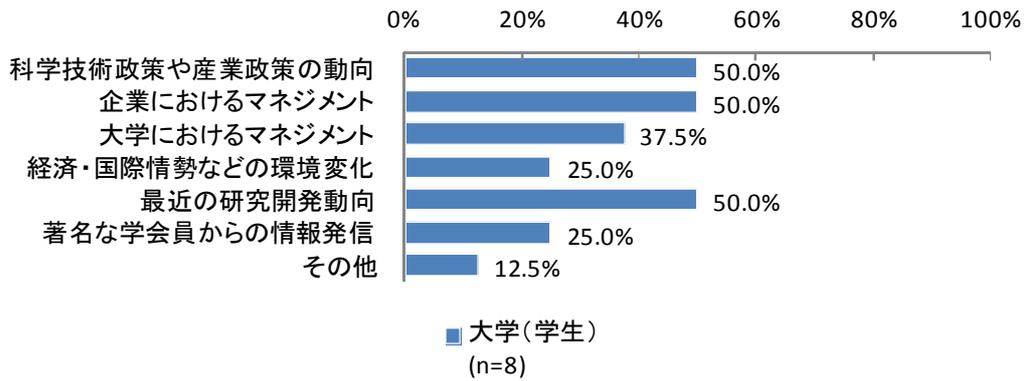
問5-5:学会誌において今後取り上げて欲しい記事などありましたら、該当するものを全て選んで下さい。(複数回答可)

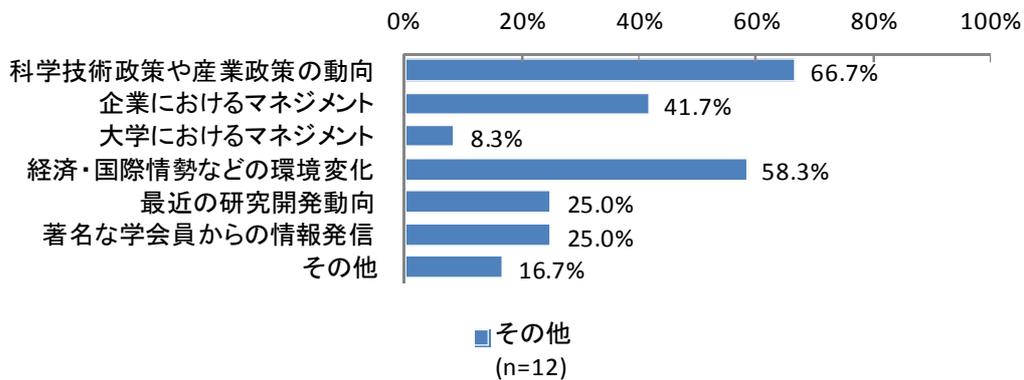
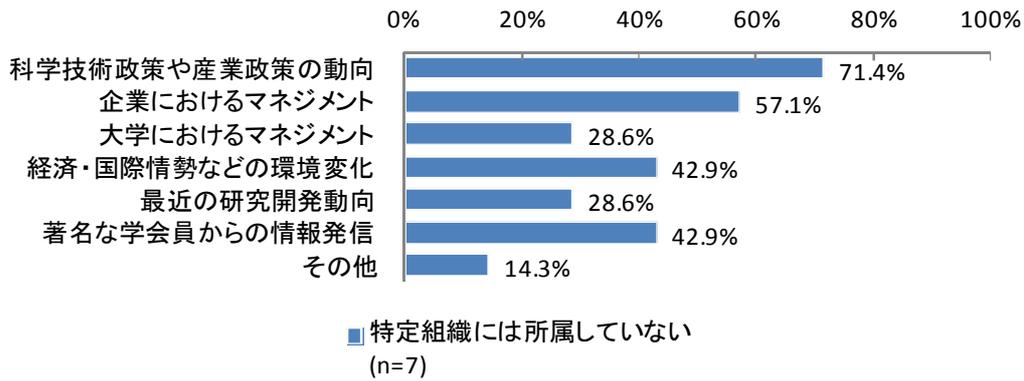
[全体集計]



[所属組織別集計]







### その他の回答

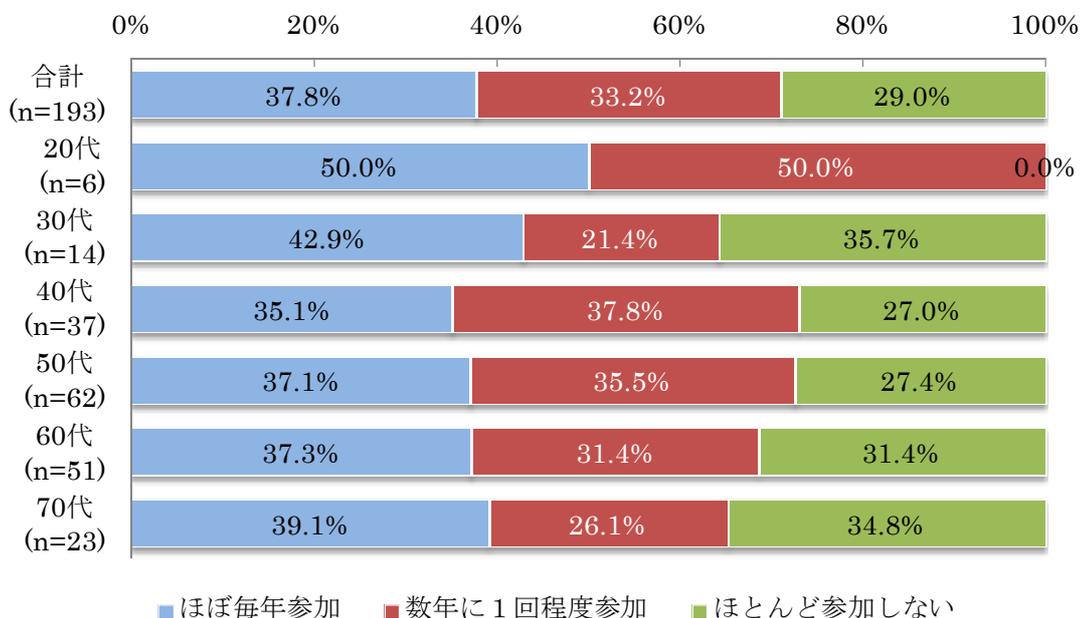
- ◇ 政策の批判的な検討、水準の高い分析
- ◇ 英語で構わないので海外で活躍している研究者の記事を掲載して欲しい
- ◇ 分析手法の充実
- ◇ 基礎科学習得講座。
- ◇ 時代環境の中で効力を発揮した政策とそれを支えた要因（単なる動向や歴史読み物ではなく）
- ◇ 海外の学会等の動向やトピックスの紹介
- ◇ イノベーション研究の国際動向の解説。注目されている論文の紹介。
- ◇ 研究者のキャリア形成
- ◇ を動向でなく「論」として
- ◇ アカデミアらしい内容、将来への期待が感じられる内容
- ◇ 科学技術政策史
- ◇ 新しい提案
- ◇ 知的財産管理、知的財産戦略
- ◇ 複合領域からの研究発信
- ◇ MOTの視点を入れたイノベーション（事例分析、競争力強化など）

- ◇ すぐれた投稿論文が掲載されること。
- ◇ 分科会のアウトプット すでにあるかもしれませんが
- ◇ 日本の著名な技術の発展と衰微の歴史的・構造的分析
- ◇ 研究開発における資源配分の考え方、方法
- ◇ マネジメントに関する国際的な取組動向とその全体のマネジメント
- ◇ 分科会の報告
- ◇ 国の政策動向に関するテーマについては、表面的な事例紹介にとどまらず、実施されている個々の事業における具体的な課題分析など深く切り込んだ内容を期待します。
- ◇ 海外の類似する主要ジャーナルに掲載された重要と考えられる論文紹介等

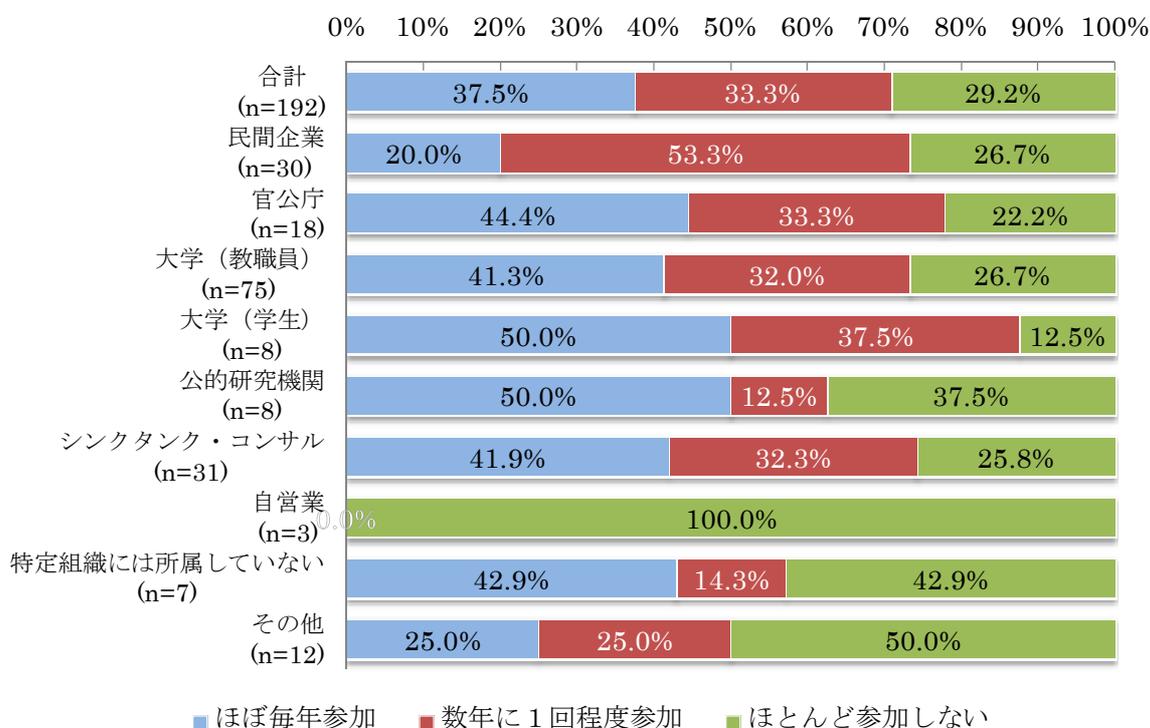
## 6. 年次大会について

問6-1：年次学術大会によく参加されますか。該当するものを1つ選んで下さい。

〔年代別集計〕

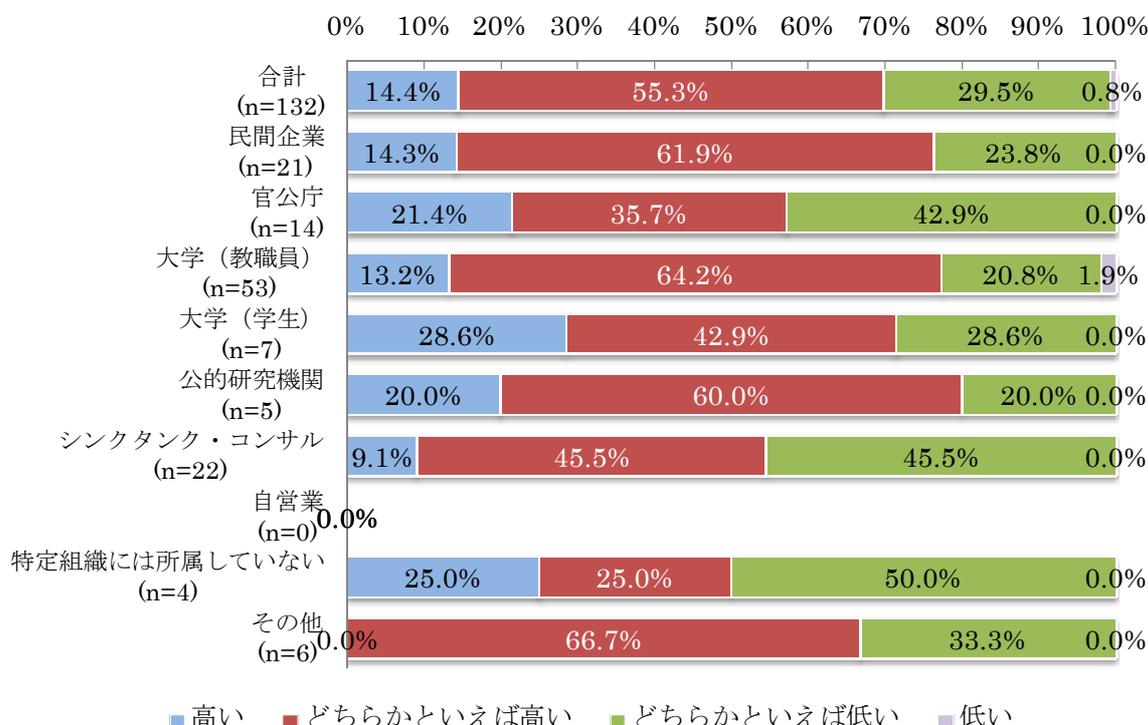


〔所属組織別集計〕

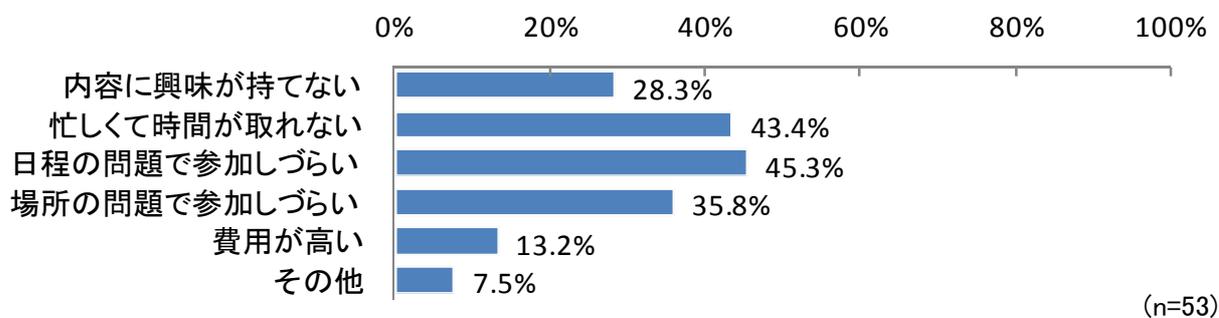


6-2：年次学術大会に参加されている方にお伺いします。年次学術大会に対する満足度はどのくらいでしょうか。該当するものを1つ選んで下さい。

(所属組織別集計)



問6-3：年次学術大会にあまり参加されていない方にお伺いします。年次学術大会にあまり参加されない理由は何でしょうか。該当するものを全て選んで下さい。(複数回答可)



#### その他の回答

- ◇ 会員になったばかりです
- ◇ 発表者でない
- ◇ セッションが細かすぎて、有効な議論ができないように思う。
- ◇ これまで機会がありません (昨年末に学会参加)
- ◇ 発表時間が短く有益な議論になりにくい
- ◇ 入会1年目でまだ参加の機会が無い
- ◇ 他学会と重なる

問6-4：年次学術大会において改善して欲しい点などありましたらご記入下さい。(自由記述)

- ◇ 発表を認める水準をもっと厳しくし、つまらない論文発表はやめ、いいものにもっと時間をかけること (60代/大学 (教職員))
- ◇ 事例報告のようなものが目立つので、学術研究の報告に注力してほしい。(40代/大学 (教職員))
- ◇ 他学会との日程競合をもう少し考慮していただきたい。春季大会など、時期をずらしてみることも検討の余地があるかもしれません。(40代/大学 (教職員))
- ◇ そのまま論文に投稿したいので、予稿の上限ページ数を緩和してほしい。(40代/官公庁)
- ◇ 10月は期初&学会シーズンのため参加したくてもできないことが多い。出来れば11月開催にしていただきたい。また参加しにくいので、地方で開催しないで欲しい(北九州、山口、つくば、滋賀・・・)。(40代/民間企業)
- ◇ 多数のセッションとは別に、その年の重要なテーマを一つ明確に打ち出して、それに関する論文等の募集とシンポジウムを構成し、それらを整理した内容を何らかの方法で社会にメッセージとして提起する (60代/民間企業)
- ◇ パネル討論でフロアとの討論充実 (70代/大学 (学生))
- ◇ ゲストスピーカーの拡大と協賛団体の拡大 (50代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 発表レベルに格差大。にもかかわらず発表時間は一律。前年に高密度・ハイレベルの発表を行ったものには、翌年には2倍の発表時間を付与するような傾斜対応が肝要。(70代/大学 (教職員))
- ◇ トピックスをより最新のものにすること (70代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 予稿集を事前に学会 Web サイトからダウンロードできるようにしていただきたいと存じます。現在は大会当日のCD配付ですので、興味のある発表を事前に下読みできない問題があります。(50代/大学 (教職員))
- ◇ 企業経営上の示唆に富む科学的「方法論」に関する分析の掘り起こし。(50代/民間企業)
- ◇ 開催日程の公表を、他の学会並みに早く、かつ、決定時に明確な告知 (50代/大学 (教職員))
- ◇ Wifi 接続の共有ストレージからの予稿集のダウンロードができるようにしてほしい。もしくはオプションでも構わないので、USB メモリでの配布を検討してほしい。(50代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ ゲストイベントの充実、2. 発表の時間割の工夫 (40代/官公庁)
- ◇ 電子予稿 (講演要旨) は従来の CD ではなく、USB メモリで配布してほしい (CD ドライブが無いと、会場で予稿が見て聴講するか否かの検討が困難) (60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ セッションによっては、討論者がいても良いと思います。(40代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ テーマが多く、プレゼの時間が少ない。テーマが最新の課題ではなく、企業にとって興味が持てない。全体的な質の低下が気になる。(60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 当日に論文集を CD で配布されて戸惑った。コピーを依頼すると有料だった気がしますので、改善をお願いします。事前に CD を閲覧できるようにしてもらえば、事前にタブレット端末にダウンロードできます。(60代/その他)

- ◇ 情報発信の強化（要旨だけでなく、発表者の許可を得て発表資料も公開する）（50代/シンクタンク・コンサル）
- ◇ 発表時間や質疑の時間を長くしてほしい。（60代/大学（教職員））
- ◇ 事前に発表内容の一部を見せてほしい。テーマだけでは、参加する価値があるか判断できない。（50代/シンクタンク・コンサル）
- ◇ 予稿のアップロードをなるべく早めに行ってほしい。（40代/民間企業）
- ◇ セッションのまとめ方にばらつきがある（60代/大学（教職員））
- ◇ 以前、山口大学でも開催されましたが、地方大学で開催されると、参加しやすい場合があります。（50代/民間企業）
- ◇ 経営学研究者の発表ステージを設けてほしい。2. 複合領域の研究者の発表ステージを設けてほしい。（60代/大学（教職員））
- ◇ ここ五年くらいで、MOTなどの方法論について世の中に行き渡り、ある程度当たり前になってしまったし、新しい話題もすぐに陳腐化する。また発表内容が政策に取り入れられたとしても、発表者自身にはメリットを感じにくい。もっと個人にメリットを増やす学会運営スタイルを模索してはどうか。たとえば資格認定？など（50代/大学（教職員））
- ◇ 参加者に比べて発表件数が多いと思う。一人1発表のみに絞るなどして発表数を減らし、パラレルセッションの数を減らし、セッション毎により多くの聴衆を集める工夫をしたらより議論が盛り上がると思う。（40代/官公庁）
- ◇ 東京以外の場所での開催については、無理に大学のキャンパスにせず、ホテル等も交通の便を考えて実施してはどうか？（40代/官公庁）
- ◇ 1発表あたりの時間を延ばすべきではないか。セレクションをもっと厳しくすべき。（60代/大学（教職員））
- ◇ とても革新的とは見えない企業の方々やすでにリタイアしたとしか思えない古い研究者が講演することが多い。思い出話のようで興味がわからない。（60代/大学（教職員））
- ◇ 討論者を置いた方が実りある大会になるのではないのでしょうか。また、たまにひどい発表もあるのである程度セレクトした方が良いのではないのでしょうか。（30代/大学（教職員））
- ◇ 学会誌の項でも記載したが、内容の質を上げて欲しい。口頭発表とポスターなどを組み合わせ、質の担保をして欲しい。（50代/民間企業）
- ◇ 発表内容のレベルが低いものが多い（70代/その他）
- ◇ 若手の参加者が減っているような気がするので、学生やPDが積極的に発表し、議論できるようなセッションを設けるとともに、若手だけの懇親会や、若手が企画するイベントを併設してはどうか。また、地方で開催する際、地元産業界・自治体職員にも開かれた講演会などをあわせて行うと本分野の裾野が広がる。（40代/大学（教職員））
- ◇ 他の学会よりも、内輪感が強い印象を受けます。（30代/大学（教職員））
- ◇ 若手・中堅の発表が増えるように検討してほしい。学会の設立趣旨に合わせて、研究者だけな

- く実務家が発表・発言しやすい工夫がもう少しあるとよいのでは。(30代/官公庁)
- ◇ 予め、クレジットカードで事前に大会参加費を支払い、論文集をダウンロードし、興味のある論文をプリントして当日参加できるようにしてもらえると発表が理解しやすい。(60代/民間企業)
  - ◇ 一般発表の質疑時間が3分では短いので、もう少し長くしたらどうか。(50代/大学(教職員))
  - ◇ セッションの区分と自身の関心のある分野とが一致しておらず、頻りに会場を移動しなければならぬ、時間管理の方法も会場で異なるため、聴講しづらい。会告の時期をもっと早めてほしい。(50代/公的研究機関)
  - ◇ 経費の削減により、参加費の低減化を図って頂きたい。(60代/その他)
  - ◇ 分科会の活動が見えるようにしてほしい。(無回答) / (無回答)
  - ◇ 発表内容のレベルを一定水準以上とするような取り組みをお願いできればと思います。(40代/民間企業)
  - ◇ 賛否両論とは思いますが、東京での開催を多くしていただきたいです。平日地方出張が多いため週末地方で学会の大会が開催される場合参加が難しい状況です。(50代/シンクタンク・コンサル)

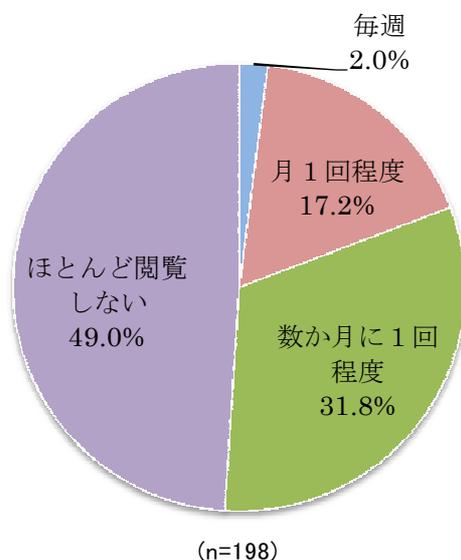
問6-5: 年次学術大会において今後実現して欲しい内容・テーマなどありましたら、ご記入下さい。(自由記述)

- ◇ 技術ロードマップ 技術マーケティング (40代/大学(教職員))
- ◇ 地域問題(活性化) (30代/大学(教職員))
- ◇ 上記6-4にも関連するが、1年間の寄稿論文や分科会活動の成果の中から、優れて重要と思われるものを拾い出し、その成果を学会全体の活動成果のレベルまで深化・充実・昇華して、それを社会に発出あるいは関係する組織・リーダーに送付し相互作用を作り出していく(60代/民間企業)
- ◇ 話題となっているトピックスやトレンドについてのチュートリアルや解説のようなセッション(40代/民間企業)
- ◇ 学術性を維持しつつも民間企業が興味をもつような経営現場の最先端のテーマをもっと掲載して欲しい(50代/大学(教職員))
- ◇ ホット 이슈がマンネリ化しすぎる(70代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 企業経営上の示唆に富む科学的「方法論」に関する分析の掘り起こし。(50代/民間企業)
- ◇ ビジネスモデルよりももう少し踏み込んだ、研究開発の成果を社会に実装するための事業スキームに関するセッションを企画してほしい。社会実装の際にリスクの分担をどのように行うかなどの実務的観点を共有できる場があると面白いと思われる。(50代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 日本の産業競争力とイノベーションの関係(40代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 生産革命(3D応用、I t o T)、AI、ロボット事業の進展等知識基盤の競争戦略、ビッグデータ応用、リアルとネット融合(60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 企業の経営戦略、産業クラスター問題、中小企業の戦略(60代/大学(教職員))

- ◇ データに基づいた日本社会の将来の姿についての考察（断片ではなく全体像）（50代/シンクタンク・コンサル）
- ◇ 未来洞察と戦略策定（60代/シンクタンク・コンサル）
- ◇ 人材育成、教育（30代/大学（教職員））
- ◇ CPS(Cyber Physical System)、IoT(Internet of Things)などに絡むビジネス、戦略構想ロボットに関わる幅広い影響をRT(Robotics Technology)という広い視野で検討（60代/大学（教職員））
- ◇ 一般受けするようなテーマを掲げること。（70代/特定組織には所属していない）
- ◇ PPP と MOT、インフラ科学、高齢社会、医療・介護と技術開発など社会課題とその解決論（60代/民間企業）
- ◇ 業態別の民間企業研究の事例（50代/民間企業）
- ◇ 地域資源を活かしたビジネス、地域マネジメント（50代/大学（教職員））
- ◇ アジアにおける科学技術政策やイノベーション・マネジメント（40代/大学（教職員））
- ◇ 持続可能な社会を実現するために科学技術はどう貢献できるか、そのために何をすべきか（30代/シンクタンク・コンサル）
- ◇ 日本企業の研究開発、製品開発、マーケティング、人材育成などにおける国際化（50代/大学（教職員））
- ◇ 翌年以降の開催日時、開催場所を、予定や案でもよいから、学会ホームページ等で公告してほしい。できれば1年くらい前、遅くとも年度末までには知りたい。予算を管理する上で、大型連休のところでは遅すぎる。（50代/公的研究機関）
- ◇ 分科会連絡会を設定して欲しい。（他の分科会を知る年に一度の良い機会）（無回答）/（無回答）
- ◇ できるだけ、産業界からの発表が増えるような取り組みを強化していただければと思います。特に、実務に活かすことを念頭に置いた事例検討や提言を増やすことができればと考えております。（40代/民間企業）
- ◇ 大学におけるマネジメントの在り方に関する内容・国の政策動向に関するテーマについては、表面的な事例紹介にとどまらず、実施されている個々の事業における具体的な課題分析など深く切り込んだ内容（再掲）を期待します。（40代/大学（教職員））

## 7. 学会のホームページについて

問7-1：当学会のホームページはどの程度閲覧されますか。該当するものを1つ選んで下さい。



問7-2：当学会のホームページにおいて改善・充実して欲しい点などありましたらご記入下さい。(自由記述)

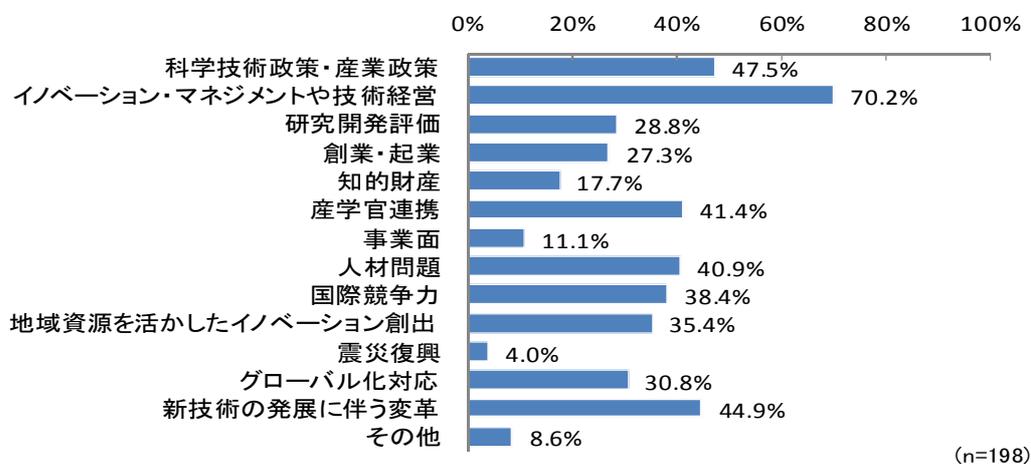
- ◇ 過去の年次大会やシンポジウム、分科会の開催概要のアーカイブ (30代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 分科会の年次計画(日程)を掲載して欲しい (50代/民間企業)
- ◇ そもそも閲覧しなければならぬ理由がない。訪問者を増やしたいという事情があるのであれば、今のままコンテンツを少し増やしてどうにかなるという問題ではないと思います。(50代/大学(学生))
- ◇ 大事な情報を探しにくい。最も大事な年会の情報を最初に持ってきてほしい。(40代/官公庁)
- ◇ 日程が合わず参加したくても参加出来なかった分科会について情報が取れるよう、学会会員であればどの分科会資料(プレゼンテーション)も学会ホームページから入手できるようにして欲しい。(40代/民間企業)
- ◇ リニューアルにより以前と比べて非常に分かりやすく改善されたと思います。(40代/民間企業)
- ◇ サブ分科会行事も網羅してほしい。(50代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 全体にもっと軽くする。(70代/大学(教職員))
- ◇ 以前より画面のデザインはすっきりしたが、内容が希薄になったように感じます。また、必応な情報にたどり着きにくくなった気がします。たとえば論文投稿のページはトップページからだとたどり着けません。(50代/民間企業)
- ◇ 魅力がない (70代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 会員番号等でアカウント管理をして、過去の雑誌や予稿集のアーカイブに自由にアクセスできるようにしてほしい。(50代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 特にありませんが、定期的な更新をお願いしたいと思います。(40代/シンクタンク・コンサル)

- ◇ 見づらい配列、英文の説明がない？ 会員同士のチャット等。(60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ メールが送られて来た時に、HPのURLも一緒に記載してもらえば、閲覧できると思う。(60代/その他)
- ◇ 入りにくい(60代/大学(教職員))
- ◇ 会員交流に利用できる形態も検討してみたら。(50代/大学(教職員))
- ◇ Facebookページと連携したらよいと思う。(40代/官公庁)
- ◇ 大会情報について、迅速な更新等の確かな情報提供を第一としてほしい。(40代/官公庁)
- ◇ 以前に比べて随分良くなった。(60代/大学(教職員))
- ◇ もうすこし絵、写真なども入れて親しみやすくする(60代/大学(教職員))
- ◇ その時代の社会的関心にマッチしていないような気がする。用語の選び方にも工夫が必要。(70代/特定組織には所属していない)
- ◇ 分科会など内容が最新になっていない。数年前のものがある。(60代/民間企業)
- ◇ 内容があまり更新されていない、興味のある記載があまりない。(50代/民間企業)
- ◇ 会員その他からの、有用な新しい情報を載せて頂けると見やすいかもしれません。(30代/大学(教職員))
- ◇ 学会大会での発表をウェブサイトだけで完結できるようにするとよい。申込みだけでなく、要旨もサイトに張り付けるなど。(50代/大学(教職員))
- ◇ 最近の改訂で、リンクが1段増えて見づらくなった。 行事予定を早めに会告してほしい。 学会のメールアドレスが明示されなくなって、分科会の申込などはホームページ上のフォームから送っているが、申し込んだかどうか分からなくなってしまふ。フォームから送っても、手元に送信の記録が残るようにしてほしい。(50代/公的研究機関)
- ◇ 関連情報 (News、Topics) を掲載すべき。更新頻度をあげるべき。(最低週1回?) (60代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 見やすく、使いやすくしてほしい。(分科会で作成した資料をPDFなどをそこに落せば、自動的に掲載なるなど・・・) ((無回答) / (無回答))
- ◇ 会議等の案内以外に、学会として注目する論文やレポートの公開などによる、学会としての情報発信(意思表示)と、一方、会員同士レベルでも特定テーマについて簡易的に議論できるサイトやメーリングリストなどが充実するとアクセスが増加するように思いました。(40代/大学(教職員))
- ◇ 分科会案内等が主になっているので、学会活動の内容がわかるような情報発信が必要ではないか。例えば学会誌が発行された時にはその内容を紹介することや、最近のホットなテーマについての会員による紹介記事などがあれば、どのような学会か理解して貰うのに役立つのではないか。(30代/大学(教職員))
- ◇ 分科会のサイトは学会HPとは別に立ち上げ、リンクを貼っていると思いますが、各分科会が独自にHPを立ち上げるのは大変なので、学会HPのサーバーに分科会ページをおけることを希望します。(50代/シンクタンク・コンサル)

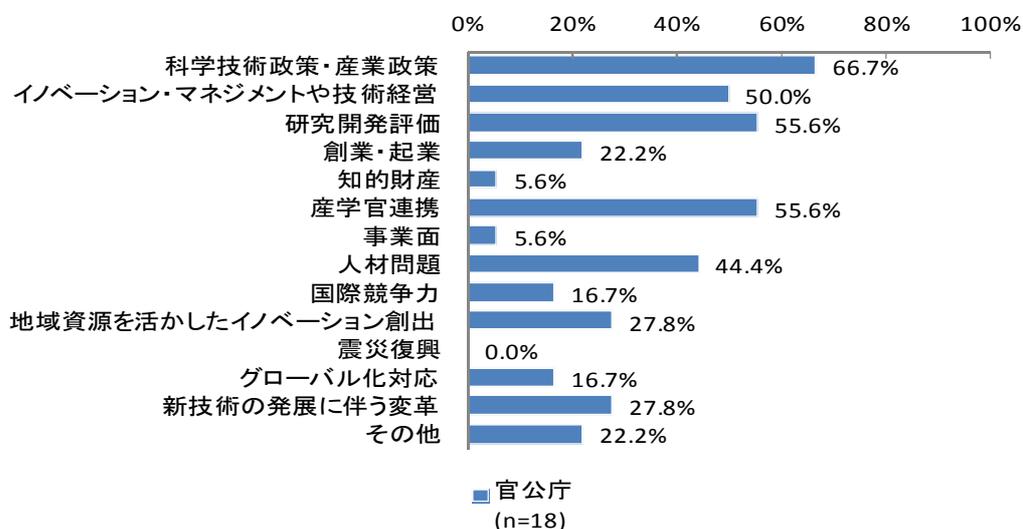
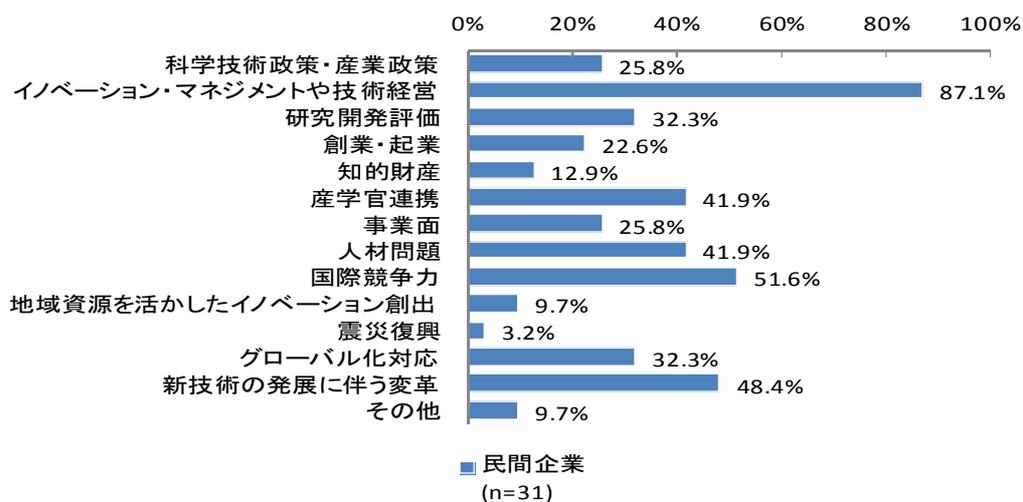
## 8. 学会活動全体の今後の方向性について

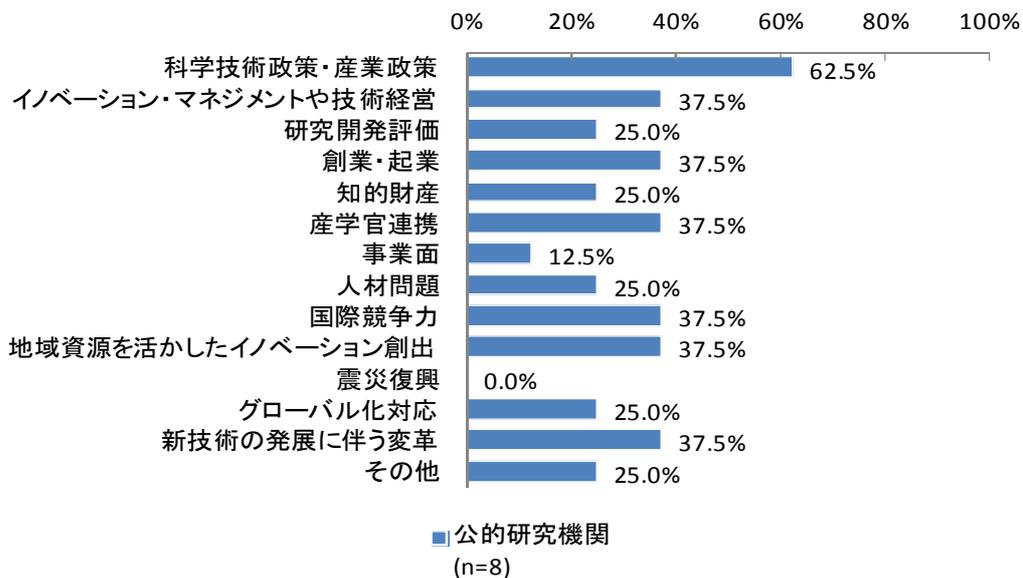
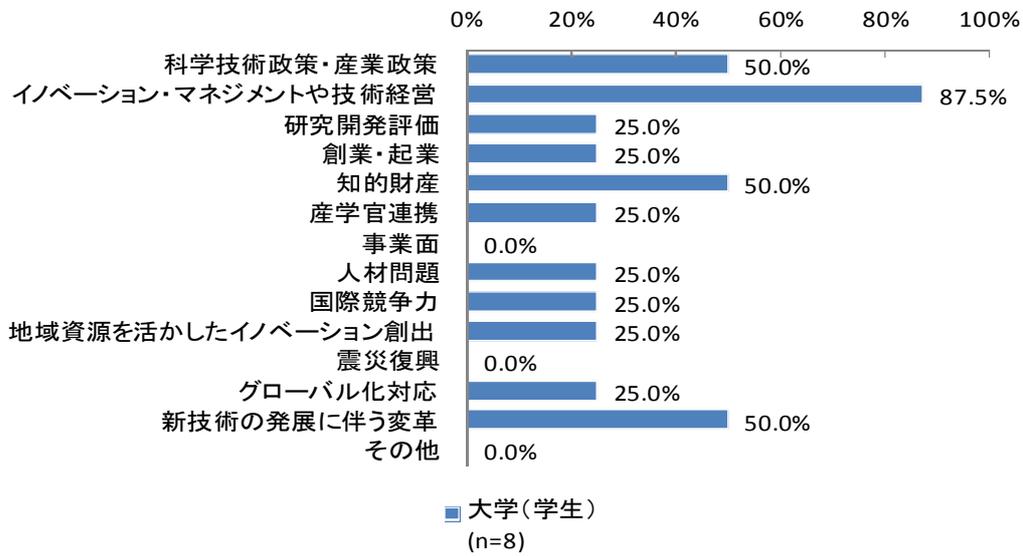
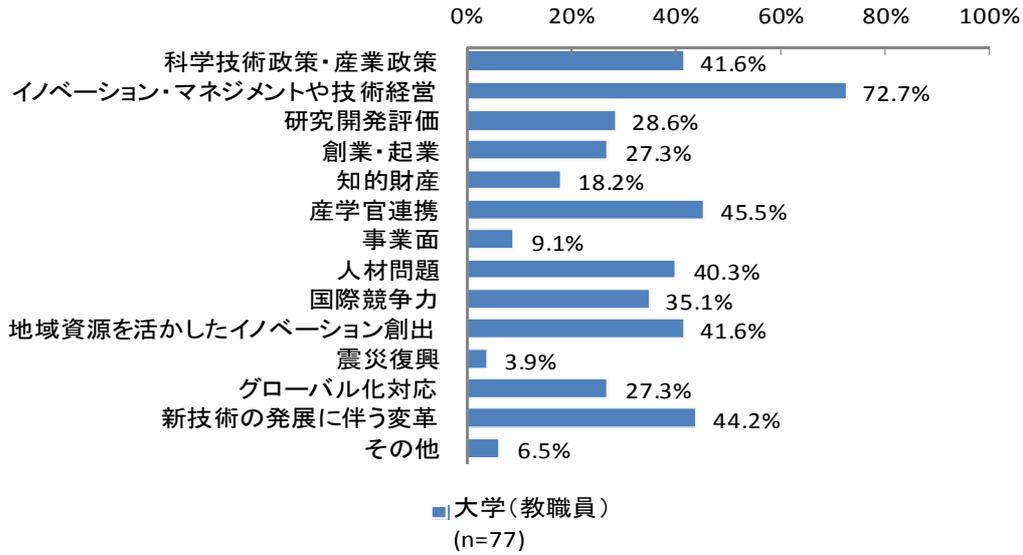
問8-1：当学会において、今後力を入れて欲しいものを全て選んで下さい。(複数回答可)

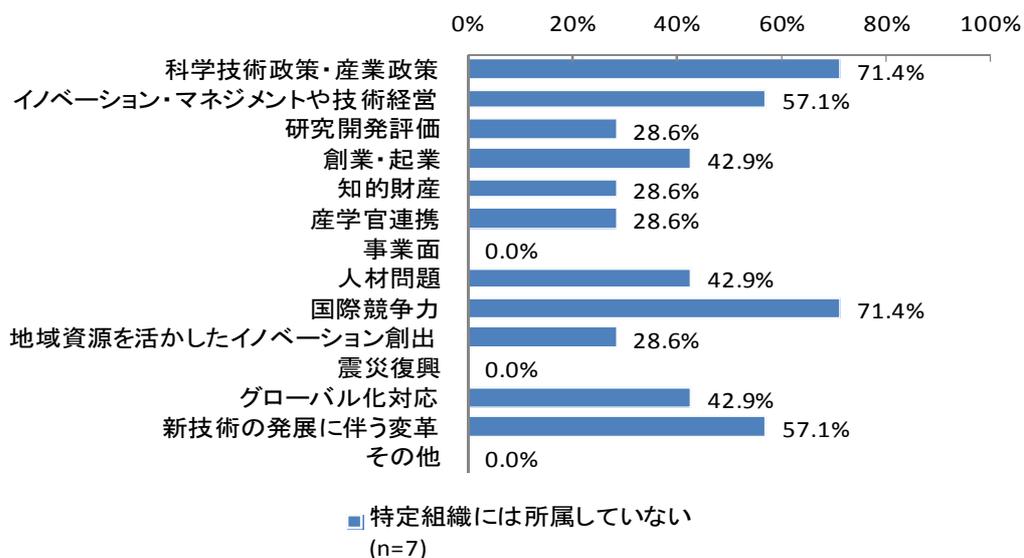
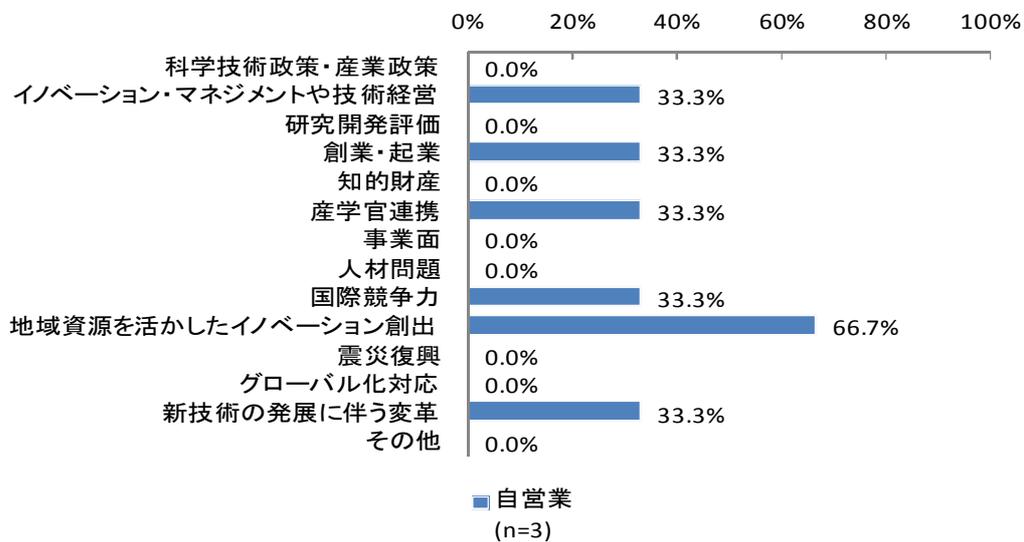
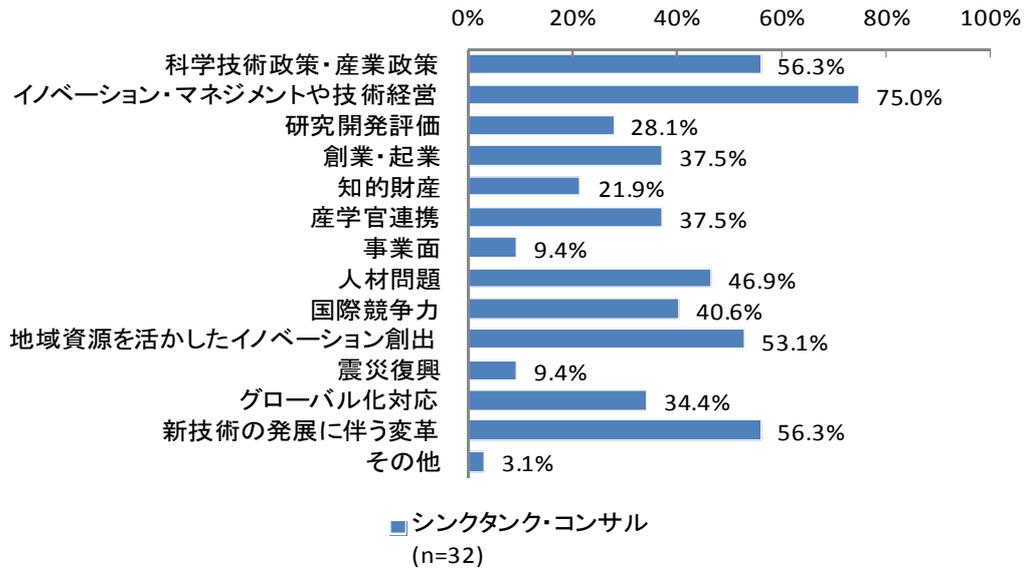
[全体集計]

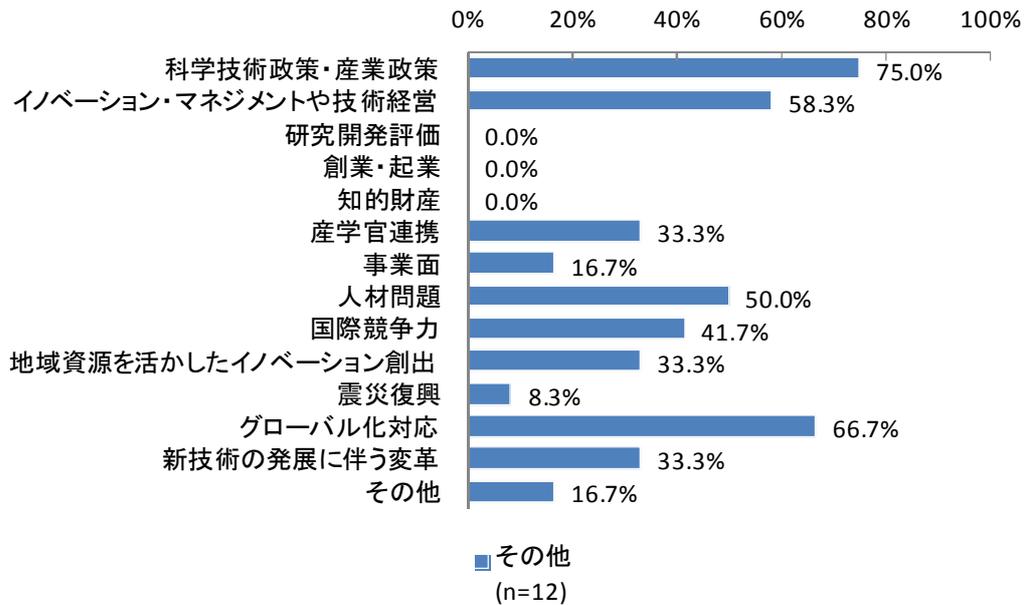


[所属組織別集計]







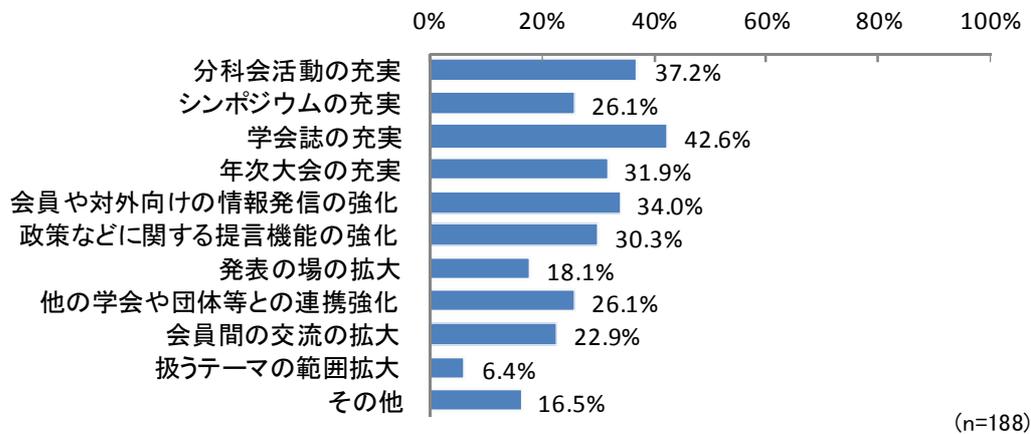


### その他の回答

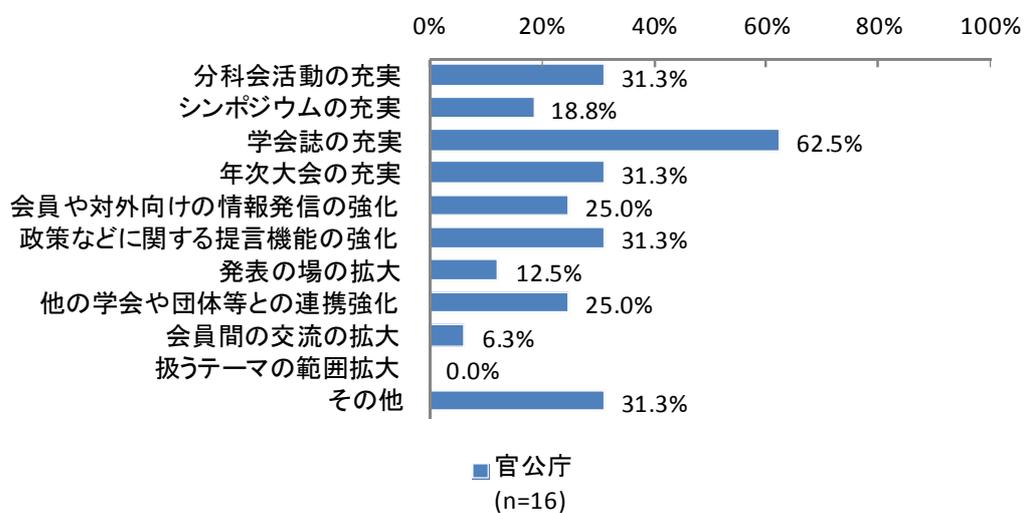
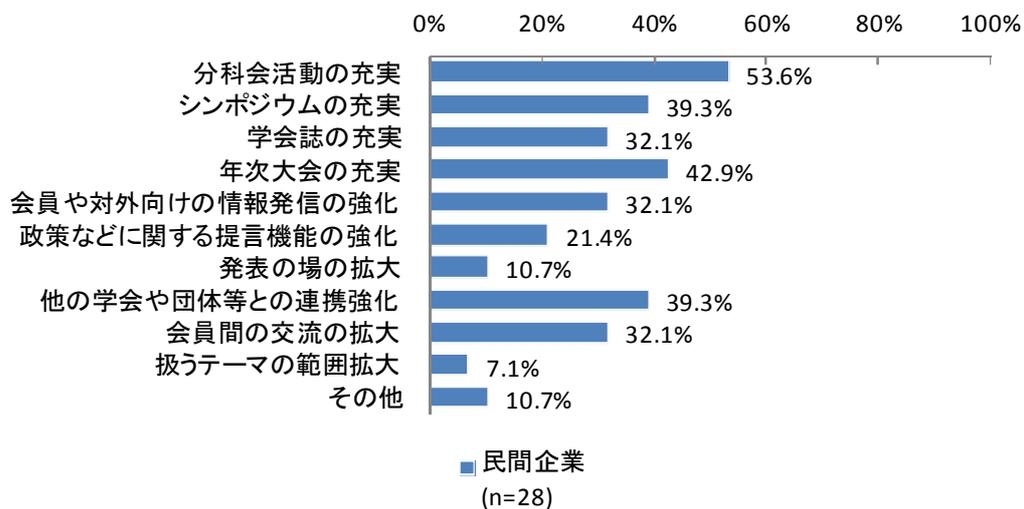
- ◇ 経営者の選抜
- ◇ 基礎科学の重要性
- ◇ 規制の進歩が科学・社会に及ぼす影響
- ◇ 海外企業の技術マネジメント手法。海外の研究動向。
- ◇ 政策（企業等も含む）立案方法やプロセス
- ◇ イノベーション創出、産業構造の変革
- ◇ 知的人材市場の形成
- ◇ 科学技術政策史
- ◇ 学会の趣旨そのものを十分に理解していません。
- ◇ 社会システム・デザイン
- ◇ 予測技法に関する研究
- ◇ PPP と MOT、インフラ科学、高齢社会などの社会課題とその解決論
- ◇ 若手の会員が関心をもつ領域に力を入れる。
- ◇ 新技術の市場形成過程
- ◇ 基本的に、科学技術／産業技術の土台そのようなが変化しつつあると考えているのでそのようなベ-ースラインの改革の国際動向をお願いします。

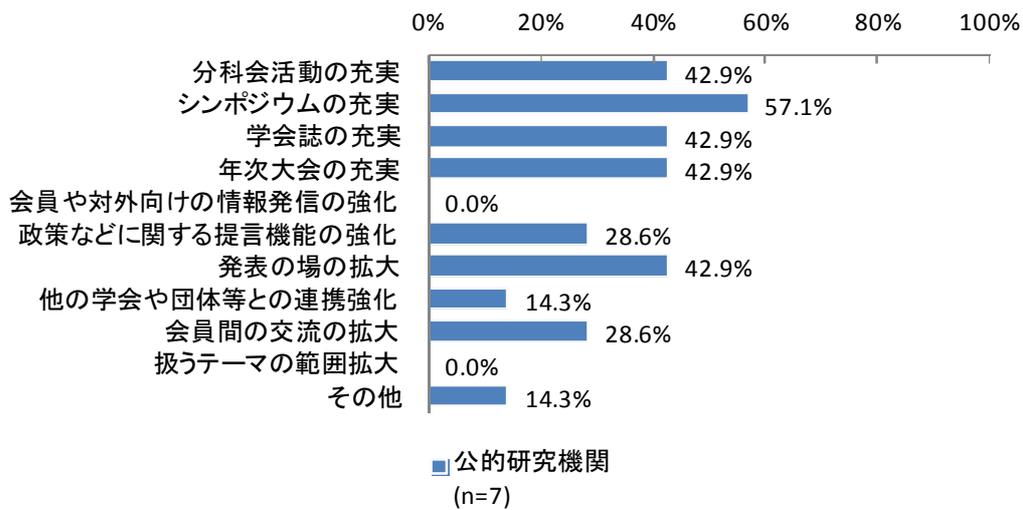
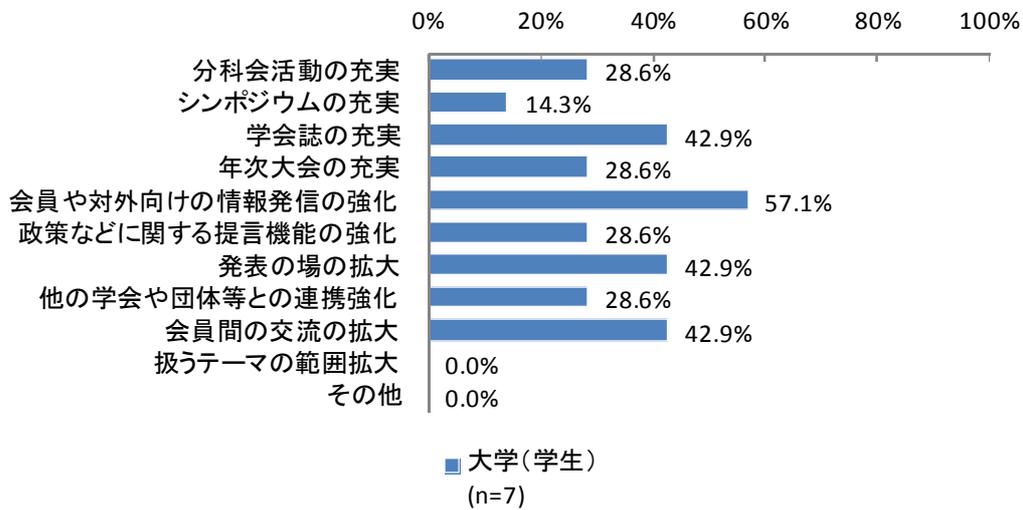
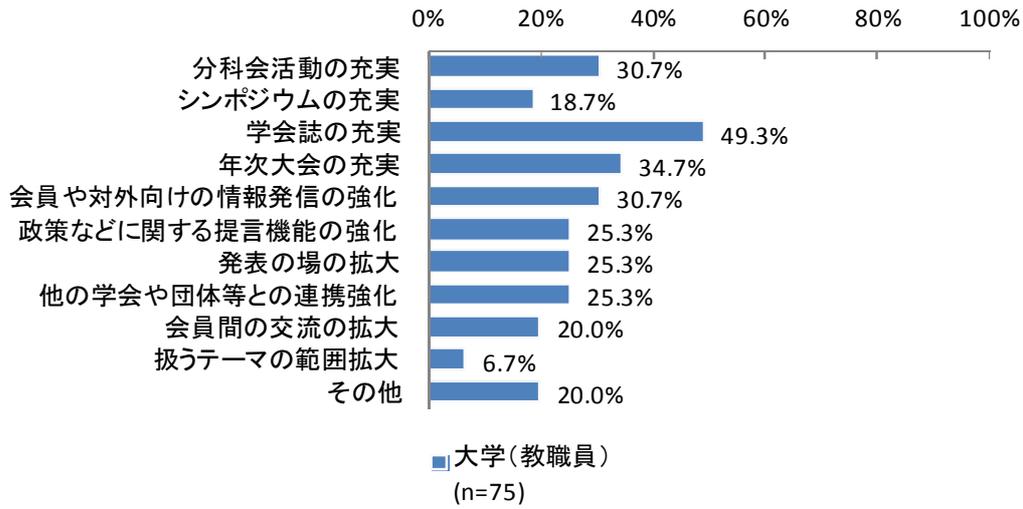
問8-2：当学会をより魅力的にするためには、何が必要とお考えでしょうか。最大5つまで選んで下さい。(複数回答可)

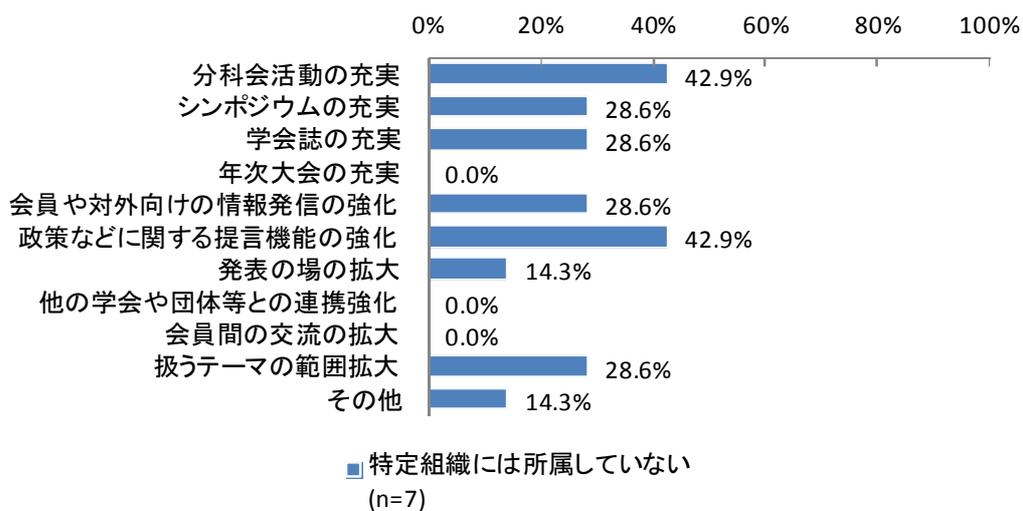
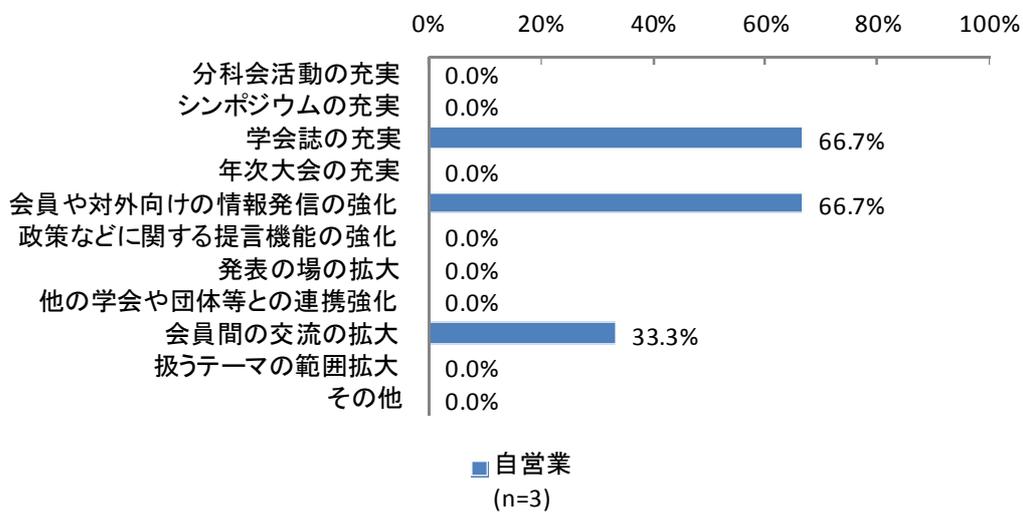
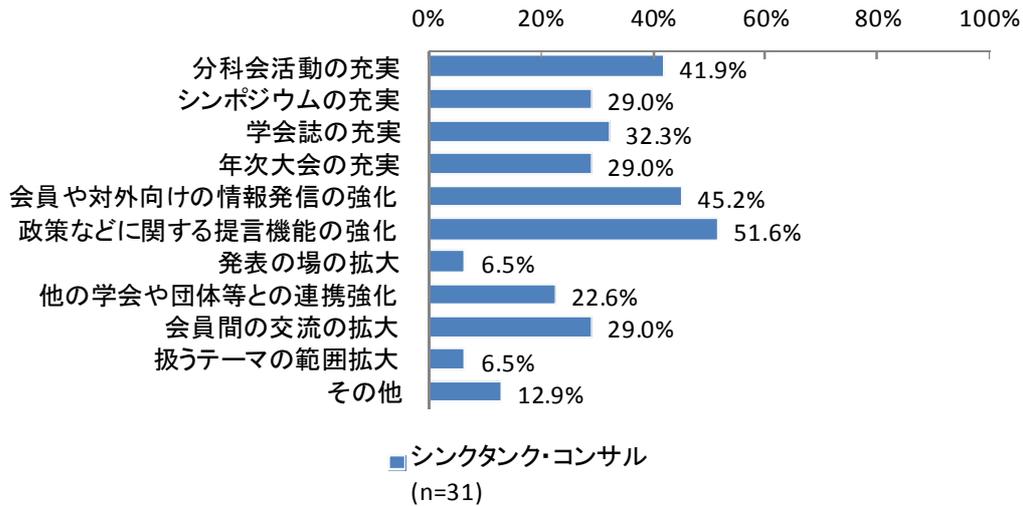
[全体集計]

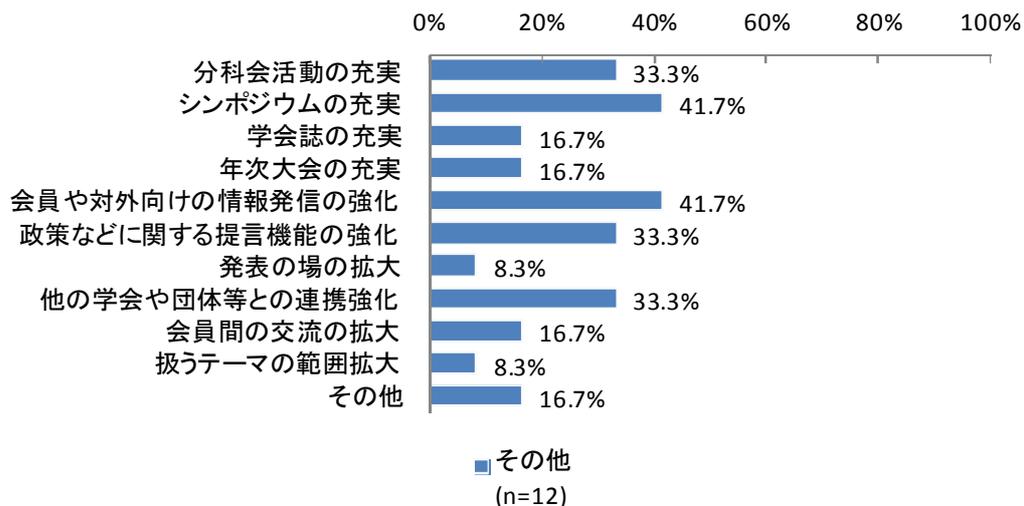


[所属組織別集計]









### 選択肢 10 (扱うテーマの範囲拡大) の回答

- ◇ 経営戦略や経営コンサルティング
- ◇ 企業経営上のイノベーションマネジメント事例の分析
- ◇ 地域活性化、超高齢化社会
- ◇ PPP と MOT、インフラ科学、高齢社会などの社会課題とその解決論
- ◇ 地域資源を活かしたビジネス
- ◇ 国際企業、政府の政治経済戦略、歴史

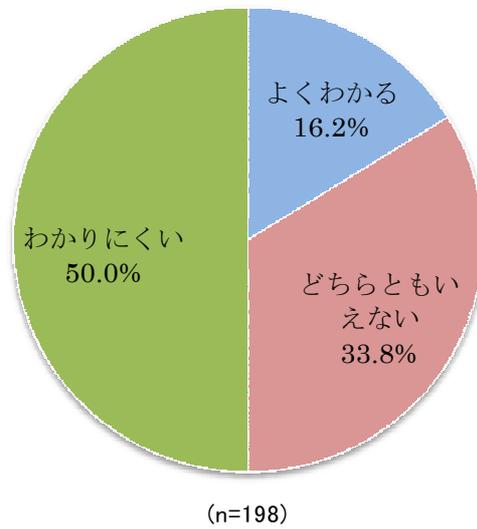
### その他の回答

- ◇ 会員数の増加
- ◇ 一般社団法人化して透明性を拡大すべき
- ◇ 欧米の関連学会などとの共催等
- ◇ オープンマインド化
- ◇ 大学教員や大学院生からも興味を持たれるような学会員の基礎的な勉強会の充実。
- ◇ 本学会の成果・貢献の明確化、認知度向上
- ◇ 査読プロセスの迅速化
- ◇ 企業で実際に技術マネジメントを行っている 40 代、50 代の人々の入会と参加。
- ◇ 学会発表、論文誌、シンポジウム・セミナー等における専門性・内容の強化、質の向上
- ◇ 若手を含む会員の幅広い登用
- ◇ 分科会の整理・統合、学生会員のスキルアップの機会・アントレプレナーシップの醸成
- ◇ ビジネスマン（特に金融機関）などの関心に耐えられる内容の充実
- ◇ 提言テーマ等重点テーマの有志研究会

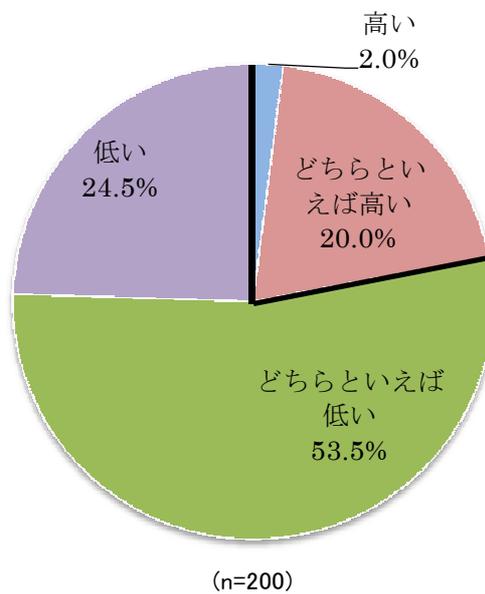
- ◇ 企業経営（戦略）と研究開発との関係。まずは実態把握から。
- ◇ 地域分科会の充実
- ◇ 学会の趣旨そのものを理解していません。
- ◇ テーマはむしろ絞ったほうがいいのではないか？他学会でやっていることをやる必要はない。
- ◇ 学会運営において人文学や社会科学の知見を有する人材の導入が必要
- ◇ 社会への発信
- ◇ 分科会活動のオープン化
- ◇ 国際連携
- ◇ 事業活動で実際に活用できるイノベーション理論の開発→企業会員の増加と実践的研究の深化
- ◇ 若い研究者は完成度が低くても発表させ、論文として受理し、機会を提供する
- ◇ 大学研究者と企業経営者とのディスカッション
- ◇ 実際の科学行政に役立つ論文を掲載してもらいたい
- ◇ 原因か結果かは別にして、新しい人材の参加。特に若い人。
- ◇ 大学や研究機関などにポストが増えることがいちばんよいのであるが。
- ◇ 若手の会員の勧誘
- ◇ 議論をできるなど参加意識をより一層高められる場の拡大
- ◇ 博士後期課程の学生の発表の場の充実（大会発表での発表時間を長くする）
- ◇ 優れた企画と組織化力
- ◇ 学術的な価値と実践的な価値とのバランスと融合
- ◇ 民間企業の会員増加

問8-3：当学会の名称（「研究・技術計画学会」）等について、どのように感じてますでしょうか。該当するものを1つずつ選んで下さい。

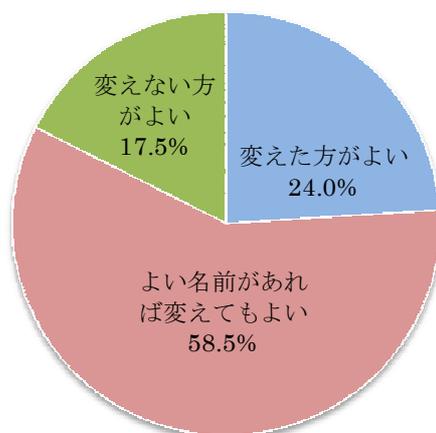
(1) わかりやすさ



(2) 学会の知名度



### (3) 学会名の変更



(n=200)

(4) もし仮に、学会名を変更すると仮定した場合、どのような名前がよろしいでしょうか。思いっく案があれば、ご記入ください。(自由記述)

〔複数の方があげた名前〕

- ◇ 科学技術・イノベーション学会：13人
- ◇ イノベーション・マネジメント学会：8人
- ◇ (日本) イノベーション学会：8人
- ◇ (日本) 技術・経営学会：4人
- ◇ 科学技術政策研究学会：2人
- ◇ 技術経営学会：2人
- ◇ (日本) イノベーション研究学会：2人
- ◇ イノベーション創造学会：2人
- ◇ 研究・技術政策学会：2人
- ◇ 研究・技術マネジメント学会：2人
- ◇ 技術マネジメント学会：2人
- ◇ 研究・技術経営学会：2人

〔以下は1人ずつのもの〕

- ◇ 科学技術政策・研究管理学会
- ◇ 企業マネジメント学会
- ◇ 研究・開発・イノベーション学会
- ◇ 科学技術学術政策学会
- ◇ 日本研究開発マネジメント学会

- ◇ 科学技術システムマネジメント学会
- ◇ 科学技術戦略・創発学会
- ◇ 名称は正直かなり古い印象を受けます。名称が長く、また表記に「・」が入っており、さらに英略の JSSPRM も読み方がなく？覚えられないので、他の人に伝えるにも苦労しています。新たな名称にするのは賛成ですが、そのためには、まずそもそもの本学会の趣意に今一度立ち戻って再考・議論することが先であり、非常に重要だと考えます。(名称を変えることが目的にならないために)
- ◇ 科学技術・政策・マネジメント学会
- ◇ 経営・技術戦略学会
- ◇ 研究・技術戦略企画学会
- ◇ テクノロジーマネジメント学会
- ◇ オープンイノベーション学会 (50代/民間企業)
- ◇ 具体的に思いつきませんが、変える場合、カタカナ (例：イノベーション) は反対です。
- ◇ 今の学会名は内容に合っていないように思われます。また、産業界などから見て将来への期待が学会活動のなかに見出せないのではないかと思います。
- ◇ 日本語の学会名と英語の学会名にギャップを感じる。科学技術政策を一つの柱とするのであれば、「科学」、「政策」が入っていない理由がよく分からない。技術経営も柱の一つであるが、「経営」も入っていない。「政策」と「経営」の折衷が「計画」なのだろうか。一般には分かりづらい。
- ◇ (国際) 科学技術イノベーション政策・評価学会
- ◇ 科学・技術経営学会
- ◇ ナレッジイノベーション創造学会 (K・I・C・S)
- ◇ イノベーション戦略研究学会
- ◇ 科学技術研究学会
- ◇ “マネジメント”が名称に入るとわかりやすいのではないのでしょうか。英語名称に倣った方がよろしいかと思います。
- ◇ 科学・技術学会科学技術・ビジネス学会日本イノベーション学会
- ◇ 名称の問題ではないと思います
- ◇ 創設から時代環境は変わった。学会の「目的」と「手段/活動領域」を見直す時期か？この学会は日本の近未来に向けた新ビジョンを再考するのか、それとも過去の改善で活動を続けるのかで名は決めるべきではないか。市井では日本のアカデミズムは日本の未来を救えないという意見を聞く。
- ◇ 科学技術・イノベーションマネジメント学会
- ◇ 科学技術政策研究学会
- ◇ イノベーション振興学会
- ◇ 社会と科学技術の関係性を感じさせるようなもの (50代/シンクタンク・コンサル)
- ◇ 科学・技術・産業政策学会 (70代/特定組織には所属していない)
- ◇ 国際戦略経営学会 (60代/大学 (教職員))

- ◇ 一番いけないのは「研究・技術計画学会」と、中央に「・」が入っていることである。そのために学会の目的が不明瞭になっている。このことを論じた記事もないし、解説もない。(70代/特定組織には所属していない)
- ◇ 研究・科学政策学会
- ◇ 名称からは、何を目的としているのか分かりにくい。実態は知らないが如何にも官の妥協の産物。イノベーションを起こすのに、官側の政策だけの議論では難しいように考える。産からの参加が望ましいが、起業家は別にして、産の新規事業推進者は秘密もあり学会には出てこない。構成員の正確な分布を知らないが、官(元を含めて)が多いのではないのでしょうか?産や学の若手が参加できる環境作りが必要に思える。
- ◇ 科学技術マネジメント学会
- ◇ 「計画」というのが分かりにくいと感じます。
- ◇ 学会発足時の三省庁合意にこだわる必要はもうないとしても、なかなかよい名称が思いつかないのです。
- ◇ 技術イノベーション学会
- ◇ 技術政策学会
- ◇ 研究マネジメント学会
- ◇ 英語での表記の方が分かりやすい。英語の学会名をうまく訳して学会名にしては。
- ◇ 科学技術政策と研究開発管理
- ◇ The Society of 英語名称で STEM Policy in Japan 短く“S P J”
- ◇ 科学・技術研究計画学会 (40代/大学 (教職員))
- ◇ 現状でも英語名称(Science Policy and Resarch Management)は比較的理解しやすい。どのような名称でも英語名称等の統一性は持った方がよい。(30代/大学 (教職員))
- ◇ 学会の原点が今ひとつ判らないかつ方向性もよくわからないので、改名案を思いつくことができない。
- ◇ 研究技術マネジメント学会
- ◇ R&D 経営学会
- ◇ R&D マネジメント学会
- ◇ イノベーション経営学会
- ◇ 科学技術研究マネジメント学会